

100日400回リレー茶会速報

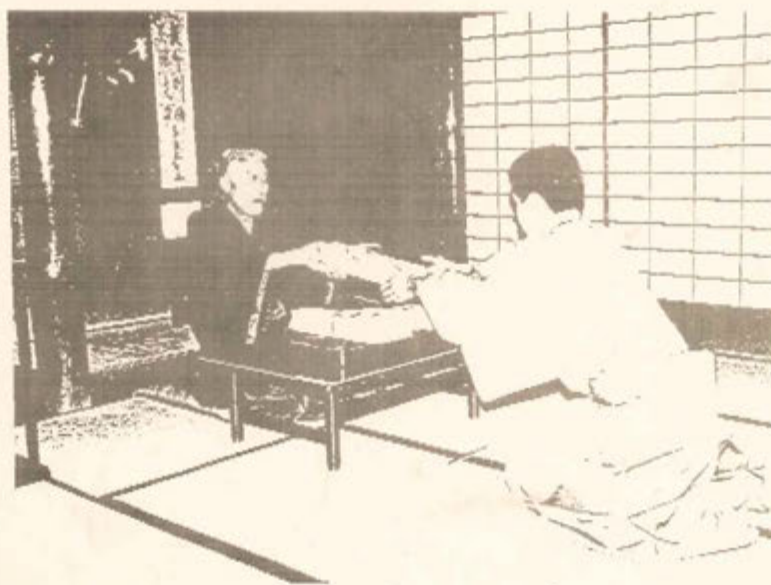
本ファックスはFネット送信です。着信先での不都合や変更を希望する場合は総本部までご連絡ください。

第1号特別版 1998年5月29日(金)発行

お家元よりご染筆伝達！ 今日リレー茶会スタート

すっかり初夏の装いとなった五月二十六日、宗家咄々斎において、鵬雲斎お家元よりリレー茶会のご染筆引き渡し式が行われました。

青年部第十一回全国大会へ向け催されるリレー茶会。この百日四百回という遠大な！計画に対して、お家元が特別に揮毫されたお軸を引き継いでいきます。



佐々木良作全国委員会委員長、岡能久全国代表者会議議長はじめ全国委員会正副役員・各ブロック長ら二十一名が緊張気味に控えるなか、四幅のご染筆引き渡しは、厳粛に執り行われました。

お家元より「これを我が身と思つて受け渡していただく」とのお言葉があり、一同感激。佐々木委員長長の決意表明をそれぞれの胸に刻んだことでした。また急遽お家元が削られたお茶杓も添えられることに。感激の気持ちのままに早速地元へ。

今日スタート！

全国大会当日の九月五日をさかのぼること百日にあたる今日、南北四カ所で行われるリレー茶会がスタートしました。初日とあつて、伊住宗晃宗匠が札幌の会場にご臨席、木戸崇夫淡交会理事は熊本、佐々木委員長は沖縄、岡議長は根室へと、それぞれの会場に駆けつけました。

- ・北ルートA：根室市文化会館
- ・北ルートB：北海道茶道会館(札幌)
- ・南ルートA：新里宗幸宅(沖縄)
- ・南ルートB：閑静庵(熊本)

この日伝達されたお家元のお軸、およびお茶杓は以下の通りです。南北二ルートを経てのリレー。各青年部へ届く日を期待してください。

北ルートA：御一行「流水無間断」茶杓「今の心」

北ルートB：御一行「寿山青々不老」茶杓「爽明」

南ルートA：御一行「杓底一残水」茶杓「碧雲」

南ルートB：御一行「松寿千年翠」茶杓「無事」

リレー茶会「ご染筆引き渡し」式

鵬雲斎お家元ご挨拶

今度の青年部全国大会に向けて、北と南からブロックごとに軸をバトンタッチし茶会を催しながら九月の京都でドッキングするということですね。これは非常にもおもしろいと思います。当番の青年部は軸を中心に独創的なお茶会をする。各青年部にはそれぞれの土地柄でユニークな考え方があるでしょう。そういうものを十分に生かしてください。

「未来を語り合う青年の心」……未来を語る青年が今、しっかりと生きてくれないと二十一世紀に日本は世界の中に残り残されてしまいます。明治時代は、欧米を目標に教育・経済・文化等一丸となって突進していき、日本は封建社会から近代へと移行しました。反面軍部が台頭し大變な権力を持った。私もその一員となりましたが、下級士官のこととて批判もできずただ流れに身を投じただけでした。それにしてもいろんな経験させてもらいました。それが今日の私たち同世代のバックボーンになっています。皆さん方自身のバックボーンとして、お茶の心「和敬清寂」をもって立ち向かってほしいのです。昔のように両刀はなくとも文武両道の精神だけはしっかりとつてください。各々のもつリーダーシップをこの機会に遺憾なく発揮されんことを念じてやみません。

「教外別伝不立文字」今日は特別に四代仙叟居士のお軸を掛けておきました。……以心伝心。私はかつて瑞巖老師はじめ老師から軸を頂戴し、「これを我が身と思え」とおっしゃっていたいただきました。皆さん方も、どうぞそういう気持ちで、この軸をご使用くだされば結構だとお思います。



No. 2

ゴールめざしてリレー茶会スタート! カウントダウン開始

1 = 5 / 2 9 fri

2 = 5 / 3 0 sat

3 = 5 / 3 1 sun

五月二十九日、北から南からリレー茶会がスタート。出発のセレモニーも兼ねた茶会は、満を持しての初日とあって、会員らの緊張した中にも全国大会の成功へ向けての決意が伝わってきました。

* 北ルートBコース *

1 北海道茶道会館 / 一四〇名

伊住宗晃宗匠のご臨席のもと、地区の役員・親先生方を迎え、北コース初日のセレモニーを開催。無限碑にお参りし無事を祈願後、ご染筆・お茶杓の伝達が行われました。

伊住宗匠は、「今年は長野オリンピックがありました。このリレー茶会は参加することに意義があるので、失敗を恐れずにお道具を通して多くの出会いをしてください。その出会いが大会の成功につながるよう期待しています」と挨拶されました。

(札幌第三支部ゆきはな青年部)



臨席された伊住宗晃宗匠



2 苫小牧市民活動センター / 一五名
小寄せの茶会を夕方まで待って、勤め帰りの会員へも一服。

(苫小牧支部はまなす青年部)

3 北海道茶道会館 / 三三〇名
第八回学校茶道交流茶会として開催し、お点前、お運びを学生方が担当しました。

(札幌第三支部しらかば青年部)

* 北ルートAコース *

1 根室市総合文化会館 / 四〇名

岡能久全国代表者会議議長が列席。千島を望む地で領土返還を願って企画した茶会でした。

(根室支部東郷青年部)

2 六国荘 / 三七名

釧路湿原を流れる釧路川をイメージし湿原の花を添えました。

(釧路支部いちい青年部)

3 とかちプラザ / 四三名

ゆったりとしたお席で、親支部の先生方にも喜んでいただきました。

(帯広支部十勝青年部)

* 南ルートAコース *

1 碧雲亭 / 七二名

佐々木良作全国委員長が列席。お茶杓の銘「碧雲」と、会場の名前が奇しくも一致、一同驚きと感銘深い茶会のスタートでした。

(沖縄支部かりゆし青年部)

2 南海王国琉球の風 / 二五〇名

ドラマロケ地で琉球情緒たつぷり。ペアのチケットで「二人が一人を」。

(沖縄支部おもしろ青年部)

3 奄美文化センター / 九〇名

支所会員、青年部会員、一般市民、それぞれに一服差し上げました。

(奄美大島支所奄美青年部)

* 南ルートBコース *

1 閑清庵 / 四二名

親支部の例会において、ご染筆を掛けての懸釜が催され、親子でリレー茶会を盛り上げる気運が一気に盛り上がりました。山発式には総本部より木戸崇夫淡交会理事が列席、厳肅なうちに一歩を踏み出しました。

2 長谷川宗里宅竹豊庵 / 五二名

熊本県立大学茶道部が本格的なお茶会を経験。身の引き締まるような、貴重な経験でした。

3 熊本市青年会館茶室 / 二八〇名

支部総会の会場に懸釜。親支部の先生方もご染筆をご覧いただきました。

(熊本支部六青年部)

家元の筆による軸と茶杓を、全国各地の支部の青年部でリレーしていく。裏千家茶会のリレー茶会が、同支部（梅田光孝部長）主催で、三十日夜、市内の六園荘で開かれた。裏千家茶会として初めての試み。

九月五日に青年部の全国大会が開かれる京都に向けて、北は根室と札幌、南は沖縄と熊本の四方面から、百日間の五月二十九日に茶会がスタート。四つのルートでそれぞれ軸と茶杓を受



家元の筆による軸を引き継いで開かれた青年部のリレー茶会

リレー茶会を楽しむ

軸受け継ぎ京都に向け
路 軸受け継ぎ京都に向け
け継ぎながら、大会までの「せて四日間の茶会を開いて」オリンピックの聖火リレー
百日間、毎日全国で、合わ「軸受け継ぎ京都に向け」に思いを得たもので、軸を

裏千家茶会

裏千家茶会青年部が企画

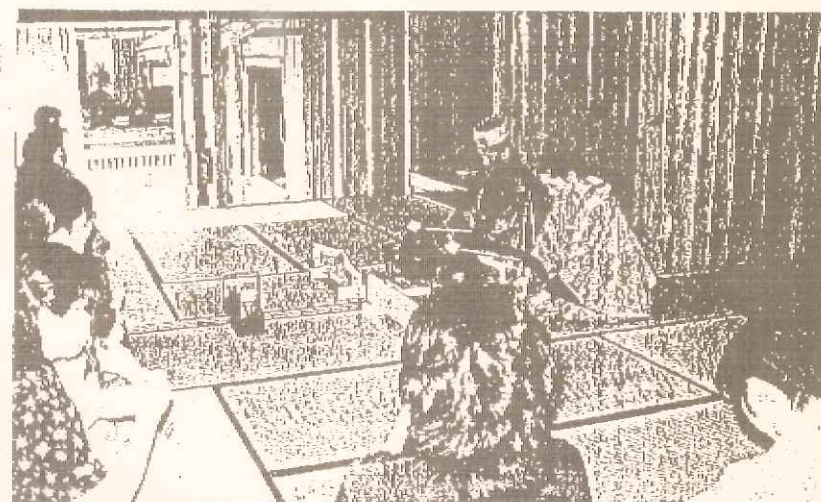
掛け軸と茶しやくを「バト」年部第十二回全国大会」をめぐり、全国四百五十所を。南と北から京都までの約百日間の珍らしいリレー茶会が二、百日前に当たるこの日から、十九日、沖縄、札幌など四カ所は北海道、南は沖縄より、

所でスタートを切った。計四コースに分かれて毎日茶会を開催する。各茶席では、茶道真千家茶会青年部の企画で、九月四日に京都市左京区の国立京都国際会館で開かれる「茶道真千家茶会」の茶しやくが使われ、

全国で10万人「茶会リレー」

100日かけ京へ
ルの京都までリレーされる。各地の公民館や老人ホーム、なかには青函トンネルや東京タワーなども会場になり、社中や市民が三十人から多いところでは五百人が列席、延べ約十万人が参加する予定、という。

同会本部は「毎日どこかで茶会をやることで全国大会を盛り上げ、行政や団体など地域も巻き込んで準備すること、日本文化を代表するお茶のよさを広く認識してもらう」という。所発「茶会リレー」をスタート。二日目の三十日は、



沖縄タイムス 6月3日

沖縄らしき琉装で演出

【読者】九月五日に京都・醍醐村の「スタジオパーク」で開催される茶道・裏千家の青年部全国大会に向けたリレー茶会が、大会百日前に当たる五月二十九日、沖縄を舞台に全国四カ所をスタートした。

リレー茶会には沖縄、熊本、北海道札幌市、同根室市を起点、南北コースで毎日茶会を開催し、九月に京都までリレーされる。

「リレー茶会」は、裏千家青年部全国大会に向け、読谷村に集まる。百日間で計四百回の茶会が開かれることになる。次回開催地には、裏千家第十五代家元の千宗室氏作の掛け軸と茶杓（しやく）が引き継がれる。

沖縄からのコースは二十九日、県内に初めて茶道を伝えた喜望峯の末代に当たる与那原の里新茶幸さんの茶室「喜望峯」をスタート。二日目の三十日は、

「祈りの火」で湯をわかし 根室など4カ所起点 リレー茶会開始へ

【根室】茶道真千家の地元支部が二十九日、根室市納沙布岬の「祈りの火」から採火した火を使っておわした湯で茶会を開く。北方領土返還を祈願するもので「日本の伝統文化を通し世界平和を祈りたい」との思いを込めているという。

茶会には、裏千家茶会根室支部東部青年部（根本佳子部長）が主催する。九月に京都で開く全国大会に向けて根室、札幌、熊本、沖縄の四カ所を起点として行う「リレー茶会」の一環。

「祈りの火」は、望郷の岬公園にある「四島（ししま）のかけ橋」の下に置かれ、北方領土返還運動のシンボルになっている。

当日は午後三時、同青年部全国代表者会議の岡能久議長（石川県在住）が採火し、市総合文化会館で茶会に使う湯をわかし、根本部長は「全国の元島民の切実な気持ちを思いながら茶会に臨みたい」と話す。

リレー茶会は関係者のみの参加で、三十日は釧路市の六園荘でも開く。



北海道新聞
5月30日

ごだま



▽茶道真千家茶会
会根室支部
東部青年部

（根本佳子部長）は二十九日、根室・納沙布岬の「祈りの火」を使って抹茶をたて、北方領土返還を祈願した。

▽同会が毎年行う「リレー茶会」のスタート地点の一つに根室が選ばれ、同青年部が「返還運動原点の地として元島民らの思いを込めたい」と企画した。

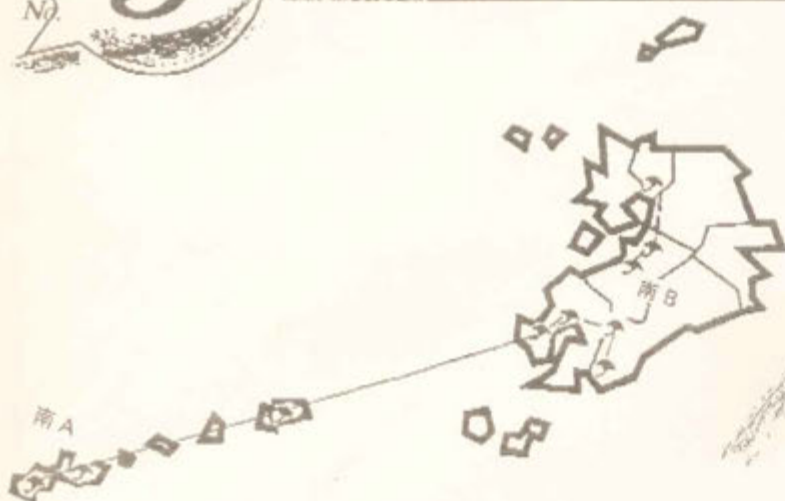
▽あいにく強風のなか、返還運動施設「北方館」にある種火から採火し写真。同会青年部全国代表者会議の岡能久議長（石川県在住）は「茶会に使う火は今日で消えるが、返還や平和を願う気持ちには燃やし続けたい」と。

根室

1998年6月15日(月)発行



4=6/1mon 5=6/2tue 6=6/3wed 7=6/4thu 8=6/5fri
9=6/6sat 10=6/7sun 11=6/8mon 12=6/9tue 13=6/10fri



* 南ルートAコース *

- 4仙巖園徑亭/15名
(鹿兒島・きりしま)
仙巖園の茶道部の稽古場で、職員と会員が楽しい一時を過ごしました
- 5楠芳亭/24名
(鹿兒島・かいもん)
6月下旬の周年行事に向けて、道具組・点前を考えました
- 6西本願寺鹿兒島別院/150名
(鹿兒島・きりしま)
青年部、そして参加者にとってこの上ない幸せを感じた茶会でした
- 7森 宗幹宅/21名
(鹿兒島・きりしま)
会員の自宅と和気あいあいと、至福の時を過ごしました
- 8中央公民館/50名
(鹿兒島・おおすみ)
特に未入会の若い人も参加してくれました
- 9風月庵/16名
(鹿兒島・きりしま)
島田宗弘副支部長担当の夜咄の茶事にOBも参加、思い出話で賑やかに
- 10楠芳亭/30名
(鹿兒島・しろやま)
子供連れの方も来席、手作りの菓子が喜ばれました
- 11殿所宗江宅/25名
(宮崎・小林)
親文部の先生、勤め帰りの会員も立ちよってほっとする時間をもちました
- 12栗屋宗孝宅知足庵/25名
(宮崎・小林)
新聞記事を見て来られた方、旅行者あり、子供あり
- 13持永宗海宅/8名
(宮崎・都城)
参加者は一様に全国大会の風を感じました

* 南ルートBコース *

- 4本渡市勤労者総合福祉センター/28名
(熊本・あまくさ)
近所の人を誘い合わせての参加を呼びかけました
- 5井上彰子会員宅/16名
(熊本・熊本第三)
小寄せ形式で、濃茶・薄茶・点心を
- 6熊本市総合体育館内青年会館/82名
(熊本・熊本第二)
会館の職員、来館者に呈茶。会員の知人、子供たちと輪が広がりました
- 7総合女性センター/22名
(熊本・熊本第一)
他の青年部会員も参加しました
- 8八代農事研修センター/67名
(熊本・しらぬい)
外国人や高校生まで幅広く参加
- 9志賀宗妙宅草庵/13名
(熊本・さがら)
ゆっくりとした時間のなかでご宗家との一体感を感じました
- 10蓮政寺/303名
(熊本・熊本第三)
早朝汲みに行った熊本の名水が美味でした
- 11宗 宗美宅/20名
(熊本連絡会)
和気あいあいとした席に仕事帰りの参加者も満足
- 12千葉宗菊宅/20名
(佐賀・有明)
青年部会員と社中が一緒になってなごやかな一時でした
- 13佐賀市歴史民族館/40名
(佐賀・天川)
会員一人が一人を誘って参加。一般の方も感激のうちに終了

* 北ルートAコース *

- 4北見市民会館/90名
(北見・みんと)
ハートとバトンを形どった菓子を手作りしました
- 5横山宗妙支部参事宅/47名
(北見・きたみ)
支部参事の先生宅で先生のお弟子さんにも青年部をアピール
- 6網走市コミュニティセンター/67名
(網走・オホーツク)
茶箱の和敬点を行い、参加者に喜んでもらいました
- 7余湖宗江参事宅/26名
(余湖宗江参事)
親として後継者を温かく見守ることのできた茶会でした
- 8大八木ブロック長宅/45名
(北海道ブロック)
茶約荘と続き薄茶と欲張って行い、賞状な気分を味わってもらいました
- 9ニュー北海ホテル/350名
(旭川・大雪)
支部研究会の会場でご茶室、お茶約を披露
- 10札幌プリンスホテル/250名
(札幌第二・北斗)
ブロック研修会での呈茶席
- 11本町会館/72名
(函館・ともえ)
「手を取り合って」をテーマに学校茶道の学生を招待
- 12本町会館/32名
(函館・ともえ)
月例会の後、会員だけの茶会
- 13カルチャーセンター/80名
(伊達・DATE)
長万部でなごやかな雰囲気茶会

* 北ルートBコース *

- 4札幌市女性センター/24名
(札幌第二・北嶺)
応接セットを立札棚に工夫して茶会を楽しみました
- 5札幌市南区区民センター/87名
(北海道ブロック)
区長・職員・一般市民が来席、初めてのお茶に感激の様子
- 6高木宗鶴参事補宅/108名
(岩見沢・きらら)
会員手づくりの菓子でおもてなし、好評でした
- 7滝川市総合福祉センター/60名
(空知・すずかけ)
親支部・一般の方も多数参加
- 8護国神社/110名
(旭川・大雪)
参拝の方にも一服のお茶をさしあげ、喜ばれました
- 9札幌プリンスホテル/250名
(北海道ブロック)
ブロック研修会で呈茶(親先生担当)を致しました
- 10札幌三井アーバンホテル/20名
(北海道ブロック)
レストラン個室でホテルの職員に呈茶、喜ばれました
- 11女性センター/22名
(札幌第四・鈴華)
支部相談役、新入会員を迎えての茶会
- 12札幌市公会堂/80名
(小樽・うしお)
親支部からも多数参加
- 13札幌女性センター/27名
(札幌第四・ものの茶)
OBもかけつけての茶会

◆裏千家が「リレー茶会」

家元から伝達された掛け軸を「リレー」しながら、百日連続の茶会を行うという初の裏千家連続茶会の旗本六青年部合同茶会が七日、熊本市市政町の連政寺で行われた。写真

連続茶会は九月、京都で開催される全国青年部大会に向けて五月二十九日、沖縄、熊本、札幌、横濱の四カ所スタート。県内では本渡市、八代市、熊本市、人吉市で茶会を開き、二日の合同茶会を迎えた。

会場には抹茶間、立茶席計十六席が設けられ、和服部の会員らが、家元伝達の掛け軸を前にお手前を披露。来場者においしい茶を心掛けていた。

旗本支部第三青年部の井上彰子さん(四)は「働いている人が多いので席の準備が大変だった。こ



れで無事に次の位置に軸を渡せました」とほっとした表情だった。旗本支部の掛け軸は佐賀、長崎、福岡と九州内を回り、中国ブロックにリレーされる。

熊本日日新聞
六月八日

家元の直筆の軸を前に

裏千家淡交
会青年部 全国リレー茶会



家元の軸を前に淡交会熊本支部青年部のリレー茶会

奄美でも茶会リレー

道家 90人が楽しむ



茶の心がバトン代わりに(奄美文化センター)

奄美市家元淡交会各支部が主催する「百日連続茶会リレー」が五月二十七日から開始。三十一日には同会各支部が所管する部で開催される全国大会本部(鹿児島市)の中心で百日間、全国各地で茶

会を開きながらリレーして行くもの。同日文化センターでは、四席の茶会が開かれ、約九十人の客が茶の湯を楽しんだ。茶会には茶の湯を嗜むていない一般の人々も多く参加。田中義雄(一)格調の茶の湯に「すてきな緊張した」との感想もあった。茶会部長は「会場だけではなく、日本各地の幅広い人々にお茶の心を楽しんでもらうというのが家元の考え。その考えに近づける。一般向けの茶席を用意した」と話した。

同日午後八時からは、リレーの伝達式もあり、鹿児島支部青年部の田中義雄さんがバトンを渡った。

北見新聞
六月三日

大島新聞
六月二日

家元執筆のかけ軸を公開

裏千家淡交会がリレー茶会



裏千家淡交会北見支部のみなと青年部(供養部)が、百日連続茶会の一環として、市庁舎で開かれ、訪れた同支部会員や一般市民が茶の湯を楽しんだ。

このリレー茶会では、旗本支部の旗本六青年部が旗本として茶の湯を披露した。青年部部長の田中義雄(一)は「茶の湯は、茶の湯の心を体感した」と話した。また、田中さんは「茶の湯は、茶の湯の心を体感した」と話した。

茶会は午後二時から八時まで開かれ、北見支部の会員や一般市民などが参加した。茶会部長は「茶の湯は、茶の湯の心を体感した」と話した。

開いていくという、淡交会としても初めての試み。それぞ各支部の青年部が家元の軸を中心に追いついた茶会を開くことで、若手の育成促進などを目指すという。

網走支部青年部は網走市の北ルートAで、第十五代旗本家元がリレー茶会のため特別に披露(一)した「流水無間断」の軸と家元がつづった茶約「今の心」を北見支部から引き継ぎ、茶席を設けた。

この日は和服姿の女性など約四十人以上が参加。茶の間にかけられた軸の書言葉を味わうなど、それぞれ思い思いに支えられた茶席の奥の奥を楽しんでいた。

同ルートの軸と茶約はその後、市庁舎に引き継がれた。

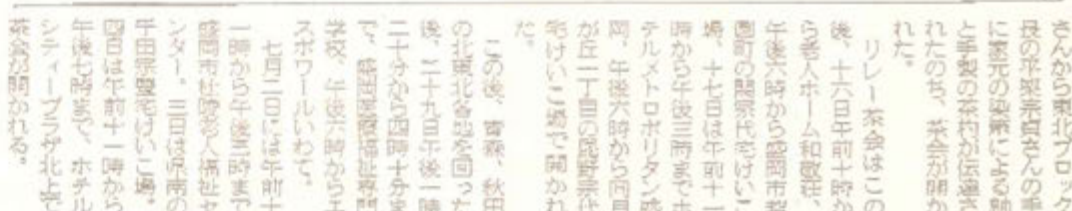
網走新聞
六月五日



一席一席が一期一会の場に

社中で濃茶、薄茶をいただく。

全国大会参加者の顔合わせを兼ねて、



100日400回リレー茶会速報

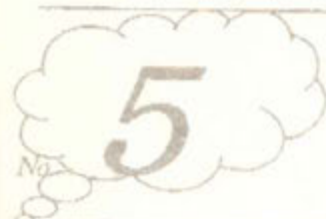
1998年7月3日(金)発行



京都市下区堀川通寺之内上ル〒602-8688

TEL075(451)5166 fax075(451)3926

http://www.urasenke.or.jp

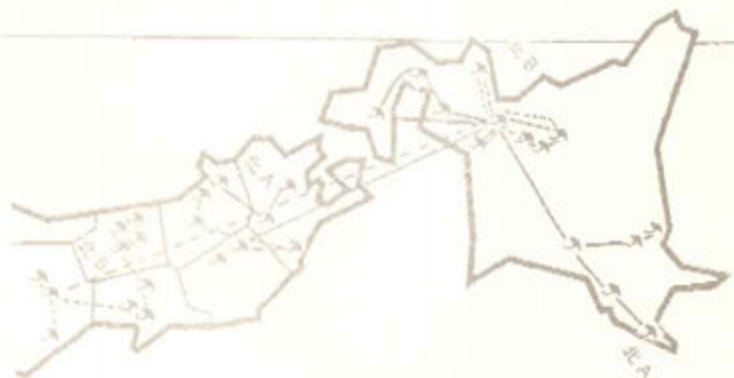


24=6/21sun 25=6/22mon 26=6/23tue 27=6/24wed 28=6/25thu
29=6/26fri 30=6/27sat 31=6/28sun 32=6/29mon 33=6/30tue

北ルート版 (NorthRoute)

東北路、ブロック内を駆け巡る

6月15日に東北ブロックへ引き渡されたご集筆とお茶約は、秋田～岩手～青森、宮城～庄内と巡り、公民館や学校、お稽古場や茶室で、場所や趣向もさまざまですが、いずれの所でも参加者たちの交流の和は広がっています。また、チャリティー品金も集まりました。



* 北ルートAコース *

- 24 能代市中央公民館/250名
(秋田北・秋田北連絡会)
チャリティー茶会を能代市長ら広く一般に案内、収益金を福祉団体に寄付しました。 —記事参照
- 25 能代市中央公民館/94名
(秋田北・秋田北連絡会)
学校茶道関係者、茶道部員との交流茶会で、お互いの親睦が図れました。
- 26 大曲市中央公民館/94名
(秋田・秋田南)
全会員が職場の仲間を誘って参加してもらいました。
- 27 西目町民センター/110名
(秋田・秋田南)
カルチャー講座の受講者も参加してもらい、喜ばれました。
- 28 安倍宗琴宅/133名
(秋田・佐竹)
点茶盤による立礼。チャリティー茶会で収益金を福祉団体に寄付しました。

- 29 安倍宗琴宅/96名
(秋田・千秋)
社中・市職員・自衛隊員・高校の交換留学生等、多岐にわたる参加者で盛り上がりしました。
- 30 中央エリア老人福祉/89名
(秋田・くぼた)
初めてお茶を飲む人も多く、緊張の中にもなごやかな雰囲気でした。
- 31 総合生活文化会館/48名
(秋田・矢留)
今年限りで卒業する会員がお点前し、思い出に残りました。
- 32 盛岡福祉医療専門学校/44名
(岩手・中津川)
福祉医療専門学校の茶道の授業で、ご集筆・お茶約を披露。学生たちは興味深かったです。
- エスポワールいわて/27名
(岩手・不束方)
県庁職員の方も立ち寄り、ほっとした一時を過ごされました。
- 33 東北女子大学/25名
(青森・深根野)
裏千家茶道が正課の大学で、学生たちは感激しておりました。

延べ参加 5765名

* 北ルートBコース *

- 24 瑞鳳寺/41名
(宮城・晩翠)
他ルートの動きを指示しました。
- 25 仙台市青年文化センター/63名
(宮城・宮城)
—記事参照
仙台から京都までの無事を願い、仙台のお茶と京都のお菓子を使いました。
- 26 瑞鳳寺/18名
(宮城・晩翠)
月夜の薄茶席で、好評でした。
- 27 岡崎宗豊副ブロック長宅/30名
(宮城・広瀬)
自宅稽古場でお茶をふるまいました。
- 笹生の里/56名
(宮城・みやぎの)
ファミリー茶会を発案し、家族で、また初めての方に来ていただくようにしました。
- 28 瑞鳳軒/18名
(宮城・経ヶ嶺)
夏頃の涼みで、仕事帰りの参加者を迎えました。

- 29 宮城県民会館/55名
(宮城・けやき)
至福の一時を味わいました。
- 30 笹生の里/35名
(宮城・杜)
水の流れの行き若く先ということで「滝」をテーマに。
- 31 羽田庄内国際村/530名
(庄内・庄内連絡会)
会員・学生・一般の人など大変多くの人に喜んでもらい、和を感じました。
- 32 中村宗寛宅/60名
(庄内・かたばみ)
稽古の一環として、緊張の中で社中の稽古が続きました。
- 33 老人保健施設うらら/148名
(庄内・風海)
保育園児がお遊びの手伝い。入所者も子供も楽しんだ茶会でした。
- 小田宗経宅/52名
(庄内・島海)
会員・社中・近所の人、OBがお客。大変喜ばれました。

★ ★

延べ参加 3210名



茶元の掛け軸の前で茶の湯を楽しんだ
(能代市中央公民館で)



わりに茶園で茶を飲む、せたし弟子は水と茶を煮た茶葉を二、三日、仙台東山系山麓の市青年文化センターで出していた。

裏千家淡交会の茶元は、淡交会宮城県支部青年部(佐藤勝彦)部長が主幹し、九月六日に京都市で開く全国大会まで計四回同の茶会がある。

右は下野宗元(緑木宗彦)と大船北秋の会による北ルート版「(山崎宗彦)が主幹した。チャリティー茶会を市で行う。収益金は福祉施設などに寄付している。この日は、新入りの一茶会と共に行われ、能代市山本町で、東北各地から大勢の人が集った。

リレー茶会は九月に京都で行われる。県内では「山崎宗彦」の掛け軸と「(山崎宗彦)」の茶の湯を楽しむ。この日は、新入りの一茶会と共に行われ、能代市山本町で、東北各地から大勢の人が集った。

茶元の掛け軸の前で茶の湯を楽しんだ
(能代市中央公民館で)

茶の湯を楽しむ。この日は、新入りの一茶会と共に行われ、能代市山本町で、東北各地から大勢の人が集った。

関門海峡を渡り、九州から中国ブロックへ



南ルートは九州を回りいよいよ中国へ。6月28日、九州名残の茶会を終えたあと、関門トンネルを渡り、福岡・山口両県の県境にて引き継ぎ式を行いました。受ける側の下関・山口神宮の神主(会員)による厳粛な神事。全国大会の成功とリレー茶会の無事を祈願しました。



* 南ルートAコース *

- 24 南大分公民館/59名
(大分・大分こくふ)
会員の心の和が広がりました。
人間禅道場/150名
(大分・ややま)
会員・親支部・社中とお客さんは多岐にわたりました。
- 25 よし泉/31名
(北九州・2青年部合同)
あわただしい中ゆったりとした一時を過ごせました。
- 26 飯塚中央公民館/60名
(筑豊・筑豊) 一記事参照
なごやかな茶会でした。
- 27 女性センターサックス/46名
(筑豊・筑豊)
昨日に引き継いで参加された方あり、会員もいっしょになりました。
- 28 ライオン広場/555名
(博多・3青年部合同)
繁華街での立礼席、大盛況でお茶への関心の高さを感じました。

- 29 山下奈美宅/70名
(福岡・2青年部合同)
近所の人・友人、地域に呼びかけての茶会でした。
- 30 天神Zサイド/30名
(福岡・2青年部合同)
若者の集まる場で彼らにアピールする茶会を開催。神妙な面もちでお茶を喫していました。
- 31 仙味堂/200名
(北九州・北九州2青年部合同)
シンプルな茶道具組みで、ご挨拶とお茶約がかえって際立ちました。
- 32 赤間神宮/300名
(下関・赤間) 一記事参照
「陰影による茶会」：南端がテーマで波の音が茶室に心地よく響きました。
- 33 宇部市文化会館/260名
(宇部・ときわ)
親支部・学校茶道・職場の方が参加心が一つとなった感激の茶会でした。

延べ参加 3833名

* 南ルートBコース *

- 24 善徳寺/400名
(長崎・長崎、佐世保合同)
親支部の講演会に先だつての茶会で、盛会でした。
- 25 西鉄ソラリアホテル/120名
(花田赤村相談役)
ロータリークラブ例会で呈茶、リレー茶会についてスピーチをしました。
- 26 博多人定寺/180名
(清原宗祐相談役)
初代部長による懸釜で賑わいました。
- 27 長尾保育園/73名
(水城一俊バスト全国委員)
保育さんが正客になり、園児たちの可愛いお客ぶりも際立ちました。
- 28 定林寺/65名
(大牟田・大牟田)
通称「あじさい寺」にあじさい見学の観光客に一握をさしあげました。

- 29 木村宗浩宅/80名
(大牟田・大牟田)
JCMメンバーを招待。親先生に添茶していただき、感謝の一日でした。
- 30 少林寺/144名
(久留米・4青年部合同)
濃茶・薄茶の二席を設けました。
- 31 少林寺/232名
(久留米・4青年部合同)
昨日から連続で。点心席を加え、広く県内からの参加者がありました。
- 32 広島全日空ホテル/94名
(広島・船島)
ロータリークラブ例会での立礼席。ロータリーにもリレー茶会を理解していただきました。
- 33 広島市水道局/230名
(広島連絡会)
水道局開業100周年記念行事で、水源の水で呈茶、注目を集めました。

延べ参加 3598名



薄茶を楽しんだあと茶道具を鑑賞する参加者ら

茶道界千家族交青年部を出発したルートで、二が主催する「1000日40十八日に福岡県から関門0回リレー茶会」が二十九トンネル入道を経由して日、下関市の赤間神宮で関門山口県入りした。茶席はかれた。

家元の染事を北海道の沖野などから四ルートに分かれ、九月に全国大会が開かれる東京同会下関支部赤間青年部が都までリレーする初の試み。

この日開かれたのは沖野席で、家元の軸「杓庵一残水」を眺めながら薄茶を楽しんだ。

染事は宇部へリレーされ、三十日午後一時から同七時まで、宇部市文化会館でも茶会が開かれる。その後宇部・徳山下松一岩関一防府一萩と七月五日まで県内各地をリレーしながら茶会を開く。

裏千家淡交青年部 下関でリレー茶会

吉ようは宇部で開催

飯塚市 一般市民も参加



茶会には、飯塚市一般市民も参加。茶会には、飯塚市一般市民も参加。茶会には、飯塚市一般市民も参加。

リレー茶会は、大分県から京都市まで開催される。茶会には、飯塚市一般市民も参加。茶会には、飯塚市一般市民も参加。

9月の全国大会成功めざし

家元の染筆などリレー茶会



「リレー茶会」は、茶の湯文化の継承と発展を目的として、全国各地で開催されている。今年度は、9月の全国大会に向けて、各地でリレー茶会が行われている。参加者は、茶の湯の作法や茶の淹め方などを学び、茶の湯文化の魅力を体験している。

茶の湯文化を継承し発展



「リレー茶会」は、茶の湯文化の継承と発展を目的として、全国各地で開催されている。今年度は、9月の全国大会に向けて、各地でリレー茶会が行われている。参加者は、茶の湯の作法や茶の淹め方などを学び、茶の湯文化の魅力を体験している。

分入。十九日は大分支部大会。大分支部は、一般の人など約七十人が参加。茶席には、市のコッパルホールで催された。

九日には、大分支部大会。大分支部は、一般の人など約七十人が参加。茶席には、市のコッパルホールで催された。

赤間神社でリレー茶会

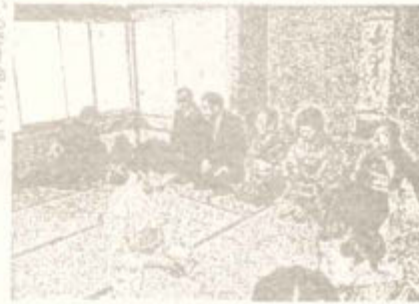
28日 一般の参加もOK

赤間神社でリレー茶会。参加者は、茶の湯の作法や茶の淹め方などを学び、茶の湯文化の魅力を体験している。

赤間神社でリレー茶会。参加者は、茶の湯の作法や茶の淹め方などを学び、茶の湯文化の魅力を体験している。

苦小牧で「茶会リレー」開く

茶道親千家淡文会



一服のお茶で心癒やかに

「茶会リレー」は、茶の湯文化の継承と発展を目的として、全国各地で開催されている。今年度は、9月の全国大会に向けて、各地でリレー茶会が行われている。参加者は、茶の湯の作法や茶の淹め方などを学び、茶の湯文化の魅力を体験している。

親千家淡文会県支部不來方青年部

市民に茶の心を

「茶の心」は、茶の湯文化の継承と発展を目的として、全国各地で開催されている。今年度は、9月の全国大会に向けて、各地でリレー茶会が行われている。参加者は、茶の湯の作法や茶の淹め方などを学び、茶の湯文化の魅力を体験している。



山形県民の茶の湯文化を体験

100日400回リレー茶会速報

1998年7月15日(水)発行

京都市 京区堀川通寺之内上ル〒602-8688

TEL075(451)5166 fax075(451)3926 http://www.urasenke.or.jp



34=7/1wed 35=7/2thu 36=7/3fri 37=7/4sat 38=7/5sun
39=7/6mon 40=7/7tue 41=7/8wed 42=7/9thu 43=7/10fri

ご染筆・お茶杓は、各青年部・ブロックを繋いで、京都までの道のりの3分の1を巡る!

* 南ルートAコース *

- 34 徳山市保健センター/210名
(周防・わかば西)
会員特製の白玉小豆が好評でした。
- 35 下松市中央公民館/350名
(周防・わかば)
「一人が一人を」をめざして、ペア
券を発行、家族・知人・友人が参加。
- 36 シンフォニア岩国/87名
(岩国・にしき)
県庁職員も興味深く参加してくれました。
- 37 防府市青少年科学館/220名
(山口・山口)
子供向けの茶会で、未来の後継者へ
お茶をリレー。
- 38 西条プラザ/219名
(東広島・東広島)
「出会い」を大切にした茶会でした。
- 39 石西県民文化会館/86名
(石見・万葉)
七夕の趣向で、涼を誘う茶会。
- 40 島根県石西県民会館/60名
(江津・さざなみ)
七夕に因んで、お菓子は「天の川」。
- 41 浜田市民集会所/23名
(石見・いわみ路)
全国大会への意気込みを感じました。
- 42 江津市のぞみ保育園/95名
(江津・さざなみ)
園児と「浦島太郎」をテーマにした茶会。
- 江津市地場産物センター/200名
(江津・さざなみ)
商工会議所婦人部総会での呈茶。
- 43 サンライフ松江/20名
(島根・やくも)
役員が亭主となり会員を招待しました。

延べ参加 5403名

* 南ルートBコース *

- 34 ホテルグランピア/82名
(広島・豊城)
ロータリークラブの例会で呈茶。
今日広島通場/70名
(広島・安芸)
テーマは、「星に願いを」
- 35 今日庵呉通場/250名
(呉・あけぼの)
浴衣でお客をお迎え。
- 36 今日庵呉通場/157名
(呉・羽衣)
爽やかなお茶会のような江天でおもてなし。
- 37 岩本宗徳幹事長宅/54名
(竹原・わかたけ)
地味のお茶会も楽しんでいただきました。
- 38 有備館/185名
(萩・後新)
他流派の方もいたく感動。
- 39 しおさい会館/25名
(境港・みなと)
符合で七夕飾り、短冊に願い事を書
いてつるしました。
- 40 しおさい会館/100名
(境港・みなと)
七夕の趣向で、親先生をご招待。
- 41 米子市文化ホール/31名
(米子・伯耆)
席中の和音が聞かれ、文字通り花は添えて
頂きました。
- 42 米子市総合研修センター/35名
(米子・伯耆)
親子・兄弟が打ち解けた最良の夜でした。
- 43 勤労青少年ホーム/30名
(倉吉・うづぶき)
身が引き締まる一時を感じた茶会。

延べ参加 4617名

* 北ルートAコース *

- 34 木立宗恵宅/84名
(青森・あすなろ)
全国大会の話題で盛り上がりました。
- 35 盛岡市立健康老人福祉センター/108名
(岩手連絡会)
会員、学生、一般の人が多く参加。
- 36 千田宗恵宅/81名
(岩手南・銀河)
92歳の相談役の先生をはじめ多くの
同門社中が参加。
- 37 北上市シティプラザ/126名
(岩手南・イーハトーヴ)
会員の3人に、ロータリーメンバーも参加。
- 38 福島市市民会館/280名
(福島・ふくしま)
「福島茶会」と名打って東北ブロッ
クの最終日を飾った。

北ルート North Route

東北各地を一巡し、関東第二ブロックへ



- 39 神尾宗悦幹事長宅/142名
(茨城・みと)
七夕の趣向で支部役員をお迎え。
- 40 つくば市春日公民館/52名
(茨城・つくば)
一期一会の七夕の趣向。
- 41 増田浩士ブロック長宅/25名
(埼玉・さくら草)
全国大会の話題で盛り上がりました。
- 42 川口総合文化センター/43名
(埼玉・しらこぼと)
勤め帰りの会員を対象に呈茶。
- 43 割烹「岡源」/57名
(群馬・群馬中央)
お茶杓の銘「今の心」をテーマに。

延べ参加 6763名

* 北ルートBコース *

- 34 天童市親月庵/162名
(山形・ノース山形)
保育園児が初めて茶会を体験。
- 35 山形市宝紅庵/50名
(山形・こまくさ、つばさ)
親先生に見守られていることを実感!
- 36 そよかぜの森/67名
(山形・おきたま)
4会場で老人ホームの方や学生にも一晩を
- 37 山形市香月苑/31名
(山形・つばさ)
青年部長4名が総前、半東、お運び分組
- 38 山形市清風荘/680名
(山形連絡会)
東北ブロック締めくくりの茶会。

★

- 39 日立市開通庵/27名
(茨城・ひたち)
親子で楽しむ茶会に、皆満足しました。
- 40 神尾宗悦幹事長宅/103名
(茨城・みと)
社中の方々を七夕の趣向でおもてなし。
- 41 銚子市青少年文化会館/81名
(千葉・銚子)
「船」をテーマに、漁火を表現。
- 42 石橋一弥氏宅/119名
(千葉・東金茂原)
ご染筆の「山」をテーマに取り合わせ。
- 43 館山コミュニティセンター/70名
(千葉・館山)
参加者も一様にご染筆に感動。

延べ参加 4600名

南ルート South Route

西・中部中国ブロックから山陰へ至る



各地で注目されるリレー茶会（新聞掲載記事）



全国巡るお茶の味

茶やぐがバトン

一わんのお茶がよしの早稲
きと聞かれた市属福祉茶会

バトン酒田に到着

お年寄りら一服楽しむ

左上
山形新聞
7月2日
11
岩手日報
7月3日
左下
莊内日報
7月2日
右上
中國新聞
7月3日
右下
中國新聞
7月3日

新聞社等の取材に対しては必ず「一〇〇日四〇〇回リレー茶会」の名称で取り上げてもらうよう伝えて下さい。

翠元作の茶杓を使って
年部員が皇茶した



44=7/11sat 45=7/12sun 46=7/13mon 47=7/14tue 48=7/15wed
49=7/16thu 50=7/17fri 51=7/18sat 52=7/19sun 53=7/20mon

ゴール100日目の京都までの折り返し点を通して、『和』の心を繋いでいます。

* 南ルートAコース *

- 44 サンライフ松江/113名
(鳥根・やくも)
土降りでも多勢の茶客が参りました。
- 45 出雲文化伝承館/184名
(鳥根・いづも)
「出雲年表」に因んだ茶席の取り合わせ。
- 46 本寛寺/9名
(津山・津山)
「お盆」をテーマの取り合わせ。
- 47 高瀬宗信幹事長宅/13名
(岡山・岡山旭川)
幹事長先生へ報告を兼ねて。
片平宗静宅/9名
(西大寺・西大寺)
緊張しながらのお稽古日。
西大寺観音院/125名
和気あいあいとした茶会。
- 48 少林寺/242名
(岡山連絡会)
支部月鑑の茶会として参りました。
- 49 福山市福寿会館/250名
(福山・福山華陽)
ガラスづくしの取り合わせで涼を。
- 50 サンライフ笠岡/154名
(笠岡・笠岡)
祇園祭りの趣向で、「つなごう和と輪」をテーマに地域の人にアピール。
- 51 高梁総合福祉センター/60名
(備北・高梁川)
少人数で力を合わせたおもてなし。
- 52 新渡戸・大原美術館周辺/820名
(倉敷連絡会)
大勢の市民・観光客に呈茶。

* 南ルートBコース *

- 44 実業軒/50名
(倉吉・うづまさ)
役員が担当し、貴重な体験に感謝。
- 45 鳥取県民文化会館/658名
(鳥取連絡会)
親戚、青年部、学校関係者で盛大に。
ホテルわこう/10名
(山陰ブロック)
ブロック総会が無事終了し、ほっとしました。
- 46 津山市役所/200名
(津山・津山)
職員も来席できるよう昼休みに。
- 47 波多野宗憲宅/8名
(西大寺・西大寺)
数年前のお稽古となりました。
西大寺観音院/125名
親先生の協力での濃茶席。
- 48 尾道共同福祉施設/70名
(尾道・尾道)
施設の関係者に呈茶、喜ばれました。
浄土寺/54名
点心的後、菓茶点の蔭茶でおもてなし。
- 49 福山市望城亭/250名
(福山・福山華陽)
親戚と青年部で3席、ゆったりしたお茶会。
- 50 妙善寺/123名
(笠岡・笠岡)
正に「和の年表」一山の縁起の茶席。
- 51 サンライフ玉野/120名
(玉野・玉野マリン)
和心で参加者とも心を一つにできました。
- 52 岡山シンフォニービルギャラリー/864名
(岡山・鳥城)
チャリティー茶会とし、収容が岡山市へ寄付。

* 北ルートAコース *

- 44 伊香保ホテル天坊/200名
(群馬県・群馬北)
地元の銘水で、ブロック研修会での呈茶。
- 45 伊香保ホテル天坊/200名
(群馬県・群馬東)
ブロック研修会で早朝より一晩ととも涼しさを提供。
- 46 齊藤宗誠宅/38名
(埼玉県・しらこぼと)
「涼」をテーマに、一般を交えての茶会。
- 47 秋草学園短大/60名
(埼玉県西武・西武)
短大生・高校生・職員との交流茶会。
- 48 秋葉宗邦幹事長宅/20名
(栃木県連絡会)
県内のリレー茶会の盛会を祈って。
- 49 城山記念館/100名
(栃木県・栃木西・栃木南)
高台の茶室で、夜景とともに螢の趣向。
- 50 大田原市ふれあいの丘/90名
(栃木県連絡会)
銘水を使い、ひぐらしの声を添えて。
- 51 とちぎ女性センター/100名
(栃木県・宇都宮)
「和」をテーマに青竹の枝の上にお茶席。
- 52 市川市市民会館/560名
(千葉県・北部)
研究会会場での呈茶。

* 北ルートBコース *

- 44 伊香保ホテル天坊/200名
(群馬県・群馬中央)
「涼」をテーマにブロック研修会での呈茶。
- 45 伊香保ホテル天坊/230名
(関東第二ブロック)
全国大会へ向けて参加者の気持ちが一つに。
- 46 横尾宗英副ブロック長宅/111名
(関東第二ブロック)
茶席部の生徒、留学生を招いての茶会。
- 47 木更津パークホテル/41名
(千葉県・木更津)
会員のいない社中へも案内し、希望時間を調整して参加者を募りました。
- 48 埼玉会館/200名
(埼玉県連絡会)
研究会参加者への茶席。一部を地区大会の道具組で。
- 49 甲府市総合市民会館/25名
(山梨連絡会)
J.Cの茶道クラブとの合同茶会。
- 50 橋本宗和幹事長宅/20名
(山梨連絡会)
茶会開催について指導を受けました。
- 51 川越市民会館/550名
(埼玉県西武・西武)
親支部講演会での呈茶。
- 52 フルーツパーク富士屋ホテル/300名
(山梨連絡会)
テーマは「つなごう」。県外からも参加。

南ルート

中国から、山陰ブロックへ。さらに、瀬戸内海を流る四国入り。

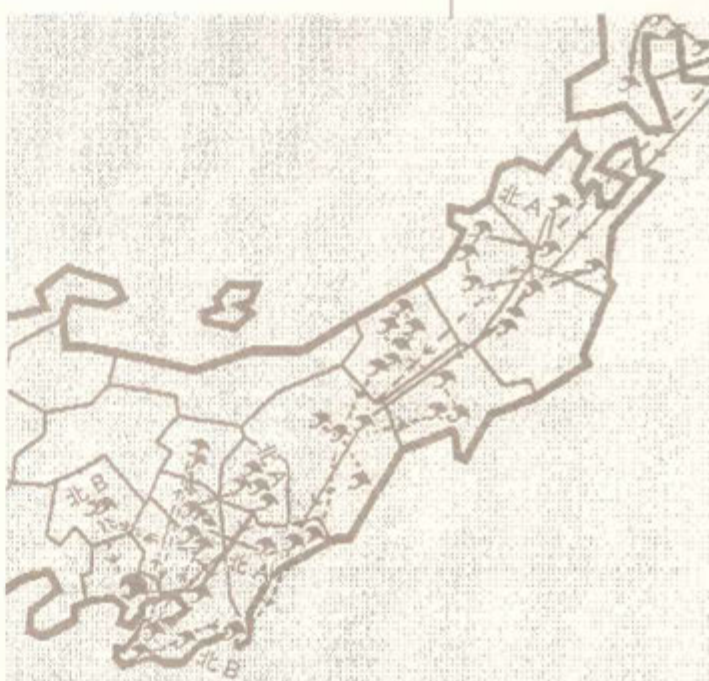


- 53 観音寺/238名
(松山連絡会)
「海の日」に因んだ趣向で涼しさを演出。
- *
*
*

- 岡山シンフォニーホール和国ホール/254名
(岡山・岡山旭川)
岡山の民話「桃太郎」をテーマに。
- 53 龍馬記念館/300名
(高知連絡会)
新聞・ラジオの広報で大勢が参加。

延べ参加>8019名

延べ参加>7254名



北ルート

関東第二では、ブロック研修会の会場で二ルートが合流。さらに第二ブロックから第一ブロックの東京へ。

- 53 蓬萊庵/60名
(関東第一ブロック)
軸の扱い方等の勉強も兼ねて。
- *

延べ参加>8191名

- 53 虎の門ホール/500名
(関東第一ブロック)
研究会会場で関東第二ブロックからの引き継ぎが行われた。

延べ参加>6777名



リレーの3分の2を踏破!

延べ3万5千人が参加して、

『和』の心を繋いでいます。

54=7/21tue 55=7/22wed 56=7/23thu 57=7/24fri
58=7/25sat 59=7/26sun 60=7/27mon 61=7/28tue
62=7/29wed 63=7/30thu 64=7/31fri

* 北ルートAコース *

- 54 蓮葉庵/179名
(東京第五東連絡会)
夕涼みの趣向で。
- 55 目白庭園 赤鳥庵/48名
(東京第七西・杉並署)
庭園の中でゆったりとした茶会。
- 56 跡見学園 茶室/86名
(東京第三西連絡会)
跡見学園茶道部の生徒との交流。
- 57 杉並区民センター/115名
(東京第七東・西合同)
「いつでもどこでも一晩を」の実現。
- 58 双松庵/55名
(東京第六東・西合同)
4青年部が初めて合同で茶会を開催。
- 59 河原宗孝宅/60名
(東京第八北連絡会)
青年部が親・学校茶道の方々と共に。

- 60 東京会館/75名
(東京第四東・自由ヶ丘)
ジャンボリーのマナー教室を想定。
- 61 大田区民プラザ/84名
(東京第四西連絡会)
熱め焼りの会員に一碗を。
- 62 調布文化センター/310名
(東京第八南連絡会)
リレー茶会の反響にうれしい悲鳴。
- 63 蓮葉庵/60名
(東京第三東連絡会)
おしのごに出した観茶漬けが好評。
- 64 天現寺/24名
(関東第一ブロック)
ブロック内の同窓会メンバーで和やかに。

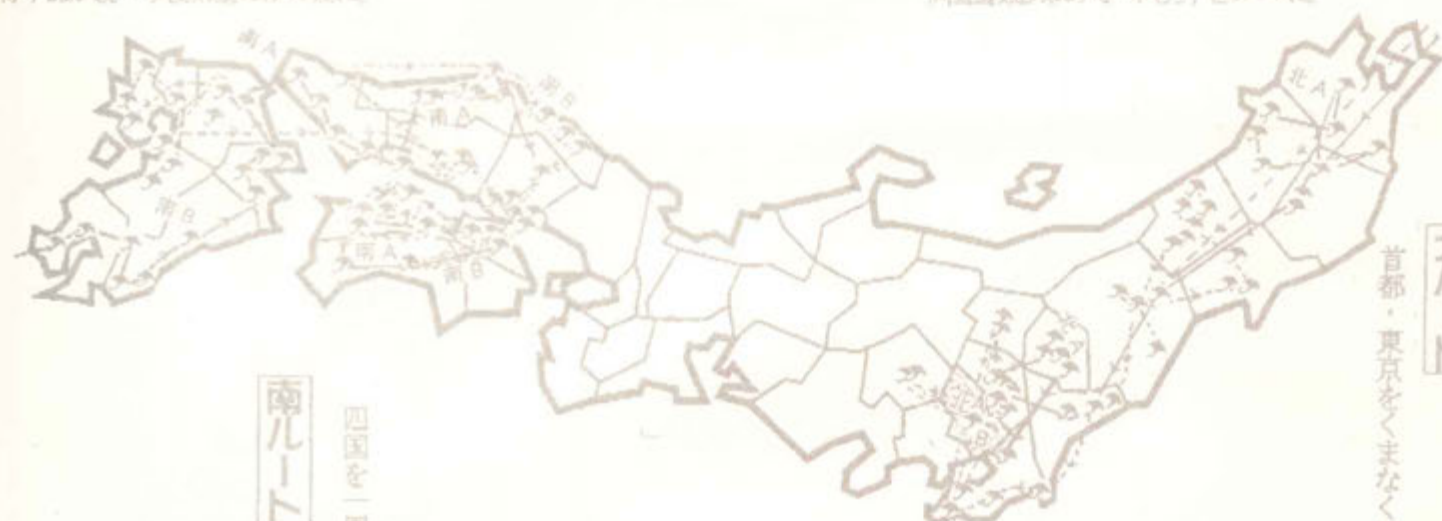
延べ参加>9285名

* 北ルートBコース *

- 54 蓮葉庵/179名
(東京第五西連絡会)
朝のイメージで花子の装は「新緑」。
- 55 新宿区立角筈地域センター/55名
(東京第四東・青葉台)
会員の職場の方にもよびかけ。
- 56 大田区立山王会館/14名
(関東第一ブロック)
マナー教室の生徒をお客に迎えて。
- 57 目白庭園/250名
(東京第一東・あづま)
大雨にもかかわらず大勢が参加。
- 58 国立婦人教育会館/86名
(東京第二東・西合同)
4青年部合同で楽しい一時を過ごしました。
- 59 江戸東京博物館/300名
(東京第三東・西合同)
両国緑地の隣りで「おもてなし」をテーマに。

- 60 裏千家東京会館/100名
(東京第一東・すみだ)
青山グリーンアカデミー受講生に呈茶。
- 61 大田区民プラザ/84名
(東京第四東連絡会)
出陣お茶をがめようと、和洋の取り合え。
- 62 西谷宗孝宅/68名
(東京第八西・多摩)
親先生、社中も交えた勉強会の後、茶会。
- 63 ホテルニューオータニ/40名
(関東第一ブロック)
ロータリー例会前に、ミニ茶会。
- 64 高田馬場茶道会館/21名
(東京第七西・杉並署)
高田女子短大茶道部による和やかな茶会。

延べ参加>7974名



南ルート

四国を一周!

首都・東京をくまなく巡る。

* 南ルートAコース *

- 54 今治国際ホテル/40名
(今治・くるしま)
繁華の町にも至福の一時でした。
- 55 横葉寺 三楊庵/47名
(西条・いしづち)
山あいの寺で一座建立を6席。
- 56 井川宗智宅/22名
(三島・ほうおう)
実業にお茶約を使い、感激至極。
- 57 新居浜市文化振興会館/50名
(新居浜・あかがね)
夜に火を招き、充分楽しめました。
- 58 国立大洲青年の家/380名
(八幡浜・いづしね)
1回目 観茶会、2回目 煎茶会 カサマ。

- 59 国立大洲青年の家/180名
(宇和島・うわじま)
子供ごころやく「西園寺」をテーマに。
- 60 中村市立中央公民館/40名
(高知・四万十)
四万十川源流の水で一晩を。
- 61 高知市立中央公民館/11名
(高知・やまもも)
「海辺」をテーマに、薄茶2席を。
- 62 かおり園/27名
(高知・土佐中央)
和やかな一時を過ごしました。
- 63 まんのう公園内/149名
(香川・四青年部)
親子合同で、来園された方に呈茶。
- 64 まんのう公園 竹風庵/128名
(高松・栗林)
子供からお年寄りまで、般の方が参加。

延べ参加>9157名

* 南ルートBコース *

- 54 高知市立中央公民館/15名
(高知・土佐中央、やまもも)
お茶だし 煎茶後 ゆったりとした一服。
- 55 香川県社会福祉総合センター/44名
(高松連絡会)
全国大会へのかけ橋となるよう橋をテーマに。
- 56 大塚宗茂部長宅/20名
(香川連絡会)
点心・濃茶・薄茶で楽しい雰囲気でした。
- 57 坂出 翠松閣/27名
(香川連絡会)
親交部役員方との交流で盛り上がりしました。
- 58 川之江市栄町商店街/77名
(三島・ほうおう)
紙まつりのイベントのひとつとして。
- 59 川之江市栄町商店街/115名
(三島・ほうおう)
2歳の子が見探見真似で席入り。

- 60 天佐田/21名
(松山・にぎたつ)
ジャンボリー担当委員へお茶を呈茶。
- 61 永井宗知副ブロック長宅/55名
(伊予・いよ)
夕涼みのテーマで、支部役員、先輩方から席。
- 62 影浜館ロビー/250名
(伊予・いよ)
地元「佐吉まつり」に協賛。
- 63 佐野邸/24名
(新居浜・あかがね)
昼しか参加できない会員を対象。
- 64 白石宗俊幹事長宅/60名
(今治・くるしま)
会員の家族も参加して、涼味を満喫。

延べ参加>7962名

芳井・笠岡でリレー茶会

280人がお点前楽しむ

茶村と掛け軸 全国400カ所巡る



お点前中

リレー茶会で茶の湯を楽しむ人々（芳井の妙吉寺）

京都目指し
茶会リレー

茶会リレー

東京府の茶会と茶会
リレーは、東京府の茶会と茶会
リレーは、東京府の茶会と茶会
リレーは、東京府の茶会と茶会



茶会リレー
茶会リレーは、東京府の茶会と茶会
リレーは、東京府の茶会と茶会
リレーは、東京府の茶会と茶会

掛け軸を茶村（てま）
く）と茶会リレーは、東京府の茶会と茶会
リレーは、東京府の茶会と茶会
リレーは、東京府の茶会と茶会

四万十の水で茶会

茶会
茶会
茶会

茶会
茶会
茶会
茶会



茶会
茶会
茶会
茶会

茶会
茶会
茶会
茶会

丸二・二山
松史・庭

100日かけて全国リレー

海の日テーマ涼演出

お茶会

茶会
茶会
茶会
茶会



茶会
茶会
茶会
茶会

右上	中国新聞	七月十八日
右下	愛媛新聞	七月二十一日
左上	山梨日日新聞	七月二十日
左下	高知新聞	七月二十九日



9 100日400回リレー茶会速報

1998年8月13日(木)発行

65=8/1sat 66=8/2sun 67=8/3mon 68=8/4tue 69=8/5wed 70=8/6thu 71=8/7fri 72=8/8sat 73=8/9sun 74=8/10mon

* 北ルートAコース *

- 65 武蔵野市民文化会館/82名
(東京第八東西合同)
手作りの道具で納涼茶会。
- 66 高田馬場茶道会館/270名
(関東第一ブロック)
たおやか、なごやかなを心にした茶会。
- 67 ハヶ岳少年自然の家/150名
(関東第三ブロック)
ジャンボリーの会場でブロックへの伝達。
- 松林庵/10名
(鎌倉・鎌倉第二)
親先生も参加、厳格な茶会。
- 寛政寺全国委員会委員長宅/33名
(鎌倉・鎌倉第二)
リレー茶会の盛会を祈って一客一幸。
- 68 好々亭/80名
(鎌倉連絡会)
「南」がテーマ、和やかさを演出。

- 69 平塚 香秋荘/140名
(湘南・二ヶ丘、相模・沙羅)
「和」をテーマに交流を深めた茶会。
- 70 茶寮問津 好日庵/69名
(湘南・相模)
手作り菓子の盛り合わせ好評。
- 71 三和2階/70名
(小田原連絡会)
箱根大平の名水を用いて。
- 72 稲尾神社/200名
(川崎連絡会)
地域の人達と和やかな一時を過ごす。
- 73 沼津俱樂部/250名
(東野・狩野川)
「未来への大いなる一歩」の意気込みで。
- 74 S.B.S.学園/190名
(沼津・松崎)
地元の名水(井田川)を用いて。

延べ参加>10829名

* 北ルートBコース *

- 65 三鷹 井心亭/130名
(東京第七西・杉並)
冷水点での薄茶で「涼」を呼ぶ。
- 66 高田馬場 茶道会館/270名
(関東第一ブロック)
男性陣の担当で豪快な茶会。
- 67 田村第一ブロック長宅/14名
(関東第三ブロック)
JC茶道時好会、近所の人が一掃で参加。
- 68 上野ビル/2名
(関東第三ブロック)
地区長を訪問、一掃を差し上げた。
- 横浜青年会議所事務局/4名
(関東第三ブロック)
呈茶でリレー茶会をアピール。
- 村瀬博三支部長宅/40名
(横浜・横浜)
にぎやかに、そして和やかに終了。

- 69 ホテルニッコー 開光庵/68名
(横浜・びあ)
ランドマークタワーでの夜景に感動。
- 70 インターコンチネンタルホテル/37名
(横浜・港都)
ちょっと贅沢な一時を過ごす。
- 71 緑水庵/30名
(横浜・港都)
真夏の一日を存分に満喫。
- 72 大佛衣部記念館/20名
(横浜・はまなみ)
涼しさと爽やかさを表現に苦心。
- 73 沼津俱樂部/250名
(東野・狩野川)
地元の特色を生かした茶会。
- 74 S.B.S.学園/190名
(沼津・松崎)
設立5周年の記録を展示。

延べ参加>9029名

延べ4万人を突破! 『和』のリレーは東海へ、さらに近畿に入りました。



* 南ルートAコース *

- 65 国営まんのう公園/188名
(香川5青年部)
家族連れが多く、子供達にも一掃を。
- 66 ホテルサンルート瀬戸大橋/858名
(香川5青年部、高松連絡会)
茶席と、「茶苑・茶の心づいて」の講演会。
- 67 三洋電機・/70名
(淡路・磯千島)
「マナー教室と納涼茶会体験」を開催。
- 68 ちどり保育所/100名
(淡路・磯千島)
園児がお遊び、微笑ましい姿が好評。
- 坂田宗賢宅/38名
(淡路・磯千島)
「絆」をテーマ、一層の親睦が図れた。
- 69 真殿宗浄宅/12名
(播磨・城南)
社中と共に一掃を。
- 飾磨市民センター/20名
(播磨・城南)
涼しさの演出にしばし暑さを忘れ。

延べ参加>11335名

- 70 姫路市立大津公民館/165名
(西播磨・ゆめさき)
中学校茶道部の生徒によるお点前。
- 71 中田保育園/80名
(淡路・珠藻)
青年部の茶席前、園児の可愛さで盛り上がり。
- 72 湊川神社 尚志館/139名
(神戸第一・風見鶏)
手作りの道具で青年部をアピール。
- サンピア明石/120名
(明石・かけ橋)
「夕涼み」をテーマに涼感を満喫。
- 73 姫路好古園 双樹庵/140名
(播磨連絡会)
市民、観光客でにぎやかに。
- 三木山森林公園/73名
(明石・子午線)
笛の生演奏をバックにお点前を。
- 74 太子町あすかホール/108名
(西播磨・千種)
立秋の涼感を感ぜさせる取り組みで。
- 進学塾アカデミー太子/67名
(西播磨・千種)
親子で観て、楽しい一時を過ごす。

* 南ルートBコース *

- 65 アスティとくしまおれおれ広場/150名
(徳島連絡会)
「世界おれおれフェスタ」オープニングと同時開催。
- 66 瑞巖寺/422名
(徳島連絡会)
「つなぐ」をテーマに徳島県民と大団圓。
- 67 加古川プラザホテル/109名
(東播・高砂の松)
厳格な雰囲気、身引き締まる思い。
- 68 池添宗節宅/13名
(東播・加古)
稽古中の遊び心、心が一つになった稽古日。
- 好古館 柳風亭/45名
(東播・加古)
親先生を招いての親睦茶会。
- 69 東播磨高等学校/18名
(東播・加古)
先生、生徒が共に一掃の意味を学ぶ。
- しろやま農業研修センター/85名
(東播・加古)
浴衣姿の子供達の並ぶ点前が好評。

延べ参加>9268名

- 70 八木宗真宅/32名
(播磨・城北)
親先生を招いての厳格な茶会。
- 賢明女子学院/50名
(播磨・城北)
高校生の熱心なお点前に暑さも忘れ。
- 姫路市民会館 豊庵/21名
(播磨・城北)
仕事帰りの会員が緊張の面持ちで点前。
- 71 ホテルオークラ神戸/90名
(神戸第二・須磨の浦)
突然の大雨、落雷で会場が停電、フジニク。
- 72 先端科学技術支援センター/80名
(西播磨・千種)
会場のモダンな雰囲気好評。
- 73 山本義和ブロック長宅/36名
(神戸第一・風見鶏)
スタッフが一致団結し、「もてなしの心」で。
- 静(しず)のおだまき館/80名
(淡路・珠藻)
花火大会をバックに和やかな茶会。
- 74 姫路市民会館/75名
(西播磨・ゆめさき)
冷たい苺きりで夏を賞味。

淡交会青年部第11回全国大会



発信●社団法人茶道裏千家淡交会総本部

京都市上京区堀川通寺之内上ル〒602-8688

TEL 075(451)5166 FAX 075(451)3926 http://www.urasenke.or.jp

No. 10 100日400回リレー茶会速報

1998年8月24日(月)発行

75=8/11th 76=8/12wed 77=8/13thu 78=8/14fri 79=8/15sat 80=8/16sun 81=8/17mon 82=8/18tue 83=8/19wed 84=8/20thu

* 北ルートAコース *

- 75 ロゼシアター/20名
(富士連絡会)
部長の点前で正会員に一碗を。
- 76 藤枝市生涯学習センター/150名
(静岡連絡会)
今までの全国大会の記念品を持ち寄り。
- 77 浜松復興記念館/110名
(浜松連絡会)
地元戦没者、支那戦没兵士の慰霊茶会。
- 78 豊橋三の丸会館/109名
(三河連絡会)
「和」の趣向で、連携もうまくできました。
- 79 東山荘/180名
(愛知第三連絡会)
終戦記念日、正午にお客様と懇話。

- 80 岡崎公園内 栗松庵/302名
(三河連絡会)
「飛騨」をテーマに、さらなる前進。
- 81 熱田神宮内 千秋閣/220名
(愛知第二連絡会)
涼しさの演出で汗をかく。
- 82 東玉堂 直心庵/230名
(愛知第一連絡会)
名水の茶席で「美味しい一服」と喜び。
- 83 イセトピア/112名
(三重南連絡会)
サブテーマは「生成ナチュラルアート」。
- 84 酒蔵庵/185名
(三重北連絡会)
夏の広間席と秋の小間席で一服。

延べ参加>12427名

* 北ルートBコース *

- 75 ロゼシアター/126名
(富士連絡会)
親先生を招き、遅くまで開いてゆったりと。
- 76 静岡市 あざれあ/135名
(静岡連絡会)
水、茶花、花入等地域ゆかりの物を使用。
- 77 浜松復興記念館/110名
(浜松連絡会)
平和をイメージして場の落着け。
- 78 豊橋三の丸会館 千切庵/109名
(三河連絡会)
橋井戸の名水を使った薄茶席。
- 79 東山荘/180名
(愛知第三連絡会)
「平和への祈りを一碗に」をテーマに。

- 80 岡崎公園内 城南亭/303名
(東海ブロック)
サブテーマ「調和」。
- 81 熱田神宮内 蓬庵/220名
(愛知第二連絡会)
「平和」と「和」をテーマに取り合わせ。
- 82 酒蔵庵/170名
(愛知第一連絡会)
冷たい湧水で「涼しさ」いっぱい。
- 83 イセトピア/83名
(三重南連絡会)
地元新聞とTV局の取材で広くアピール。
- 84 酒蔵庵/80名
(三重北連絡会)
かみゆい生徒たちが小間席を初体験。

延べ参加>10545名

『和』心のリレーはつながって、ゴールまでのカウントダウンも刻々と。



* 南ルートAコース *

- 75 連上会館 明日庵/180名
(淡路・珠蔭)
淡路の茶道の歴史を知る一時でした。
- 76 松久庵/23名
(神戸第二・須磨の浦)
名水点の冷水が好評。
- 77 無名庵/26名
(神戸第一・生田の森)
初炭と続き薄茶で、心のなれはよく満足。
- 78 弓弦羽神社/56名
(神戸第一・生田の森)
会員、社中、家族等の参加で和やか。
- 79 ウェディカルチャービルズ/45名
(阪神・武庫西)
短大生、高校生の茶室部の生徒一碗を。

延べ参加>12711名

- 80 広田荘/150名
(阪神・武庫西)
お盆にもかかわらず大勢参加。
- 81 大阪城 天守閣/250名
(大阪東・御堂)
大御所吉と利休徳川に似てお茶を。四天王寺 和松庵/350名
(大阪東連絡会)
親先生の指導で逆手点前にて一服。
- 82 ホテルアイボリー/62名
(大阪北・天神)
ロータリー例会での呈茶。
- 83 今日庵大阪出張所/30名
(大阪東・船場)
職員の皆さん一碗を差し上げました。
- 84 生国魂神社玉秀庵/204名
(大阪北連絡会)
親先生・学校茶道部・若さん・お茶の会と共にお茶。

* 南ルートBコース *

- 75 高杉福祉保健センター/74名
(東播・高砂の松)
福祉関係の皆さん一碗、ボランティア関係者。
- 76 明石市立中央公民館/60名
(明石・カキガ橋)
笑顔 元気 感謝をテーマに、お茶は和風。
- 77 明石市中崎公会堂/58名
(明石・子午線)
お茶の趣向、茶の湯、お茶のアイスcream。
- 78 小料理屋 雲葉/37名
(神戸第二・六甲)
一般の人にもリレー茶会をアピール。
- 79 六甲アイランド/24名
(神戸第二・六甲)
外国の方に呈茶。

延べ参加>10064名

- 80 広田山荘/149名
(阪神・武庫東)
青年部会員の皆さんから励ましの言葉。
- 81 ロイヤルバインズホテル/220名
(和歌山・紀州)
海が見える回廊で縁起茶会。
- 82 那智大社/23名
(南紀・きのくに)
神社関係の方々に一碗を。
- 連玉大社 鳥養庵/60名
(南紀・きのくに)
茶会成りの御所朝飯、市長、県議一碗。
- 83 熊野本宮大社/31名
(南紀・きのくに)
テーマ「熊野三山」お茶の湯の後継者。
- 84 徐福公園/60名
(南紀・きのくに)
徐福の墓にも一碗、立礼席で和やかに。

リレー茶会 静岡に

裏千家淡交会青年部

来月の全国大会へ400回



お茶や餅、喜ばれを味わう来賓者ら
＝静岡市鳳凰のあざれあ

「茶碗」の井戸水を利用した。来賓者は茶会のために用意されたそれぞれの道具やもてなしを味わうと味わった。

リレー茶会は五月下旬に北海道、沖縄から各二コリスに分かれてスタートした。全国大会は四日、同市鳳凰のあざれあで開かれ、県内外の茶会関係者約四百人が参加した。

「リレー茶会」は、三年に一度開かれ、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。今年も、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。今年も、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。

静岡新聞 8月13日

東海日日新聞 8月15日

「十五代家元直家の掛け軸と茶杓（しゃく）をパトンは全国で百回連続の茶会をする。『裏千家淡交会』が十四日、静岡市鳳凰の三の丸会館で開かれ、県内外の茶会関係者約四百人が参加した。

このリレー茶会は、三年に一度開かれ、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。今年も、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。今年も、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。

全国で100日連続リレー茶会

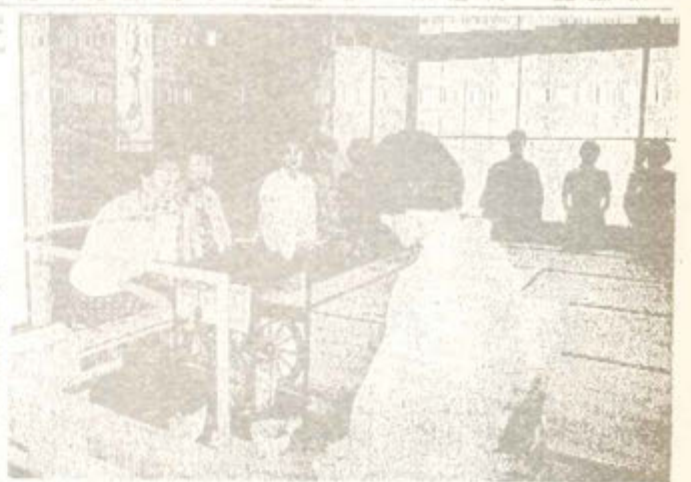
裏千家淡交会

豊橋・三の丸会館でも茶の湯

の試み。

七十八日目のリレー茶会。二つのルートで進められた茶会。『三の丸』と『あざれあ』をめぐって、県内外の茶会関係者約四百人が参加した。

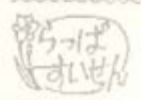
このリレー茶会は、三年に一度開かれ、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。今年も、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。今年も、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。



リレー茶会でお点前を披露する女性



し、お茶の湯を味わう。お茶の湯を味わう。お茶の湯を味わう。



お茶の湯

お茶の湯を味わう。お茶の湯を味わう。お茶の湯を味わう。

神戸新聞 8月8日

浜松でお点前



家元直家の掛け軸の前で茶の湯を煮込んだ参加者＝浜松市利町の浜松復興記念館で

パトンは茶杓と掛け軸

中日新聞 8月14日

心込めたお点前

藤沢・ワレ 茶会

静岡新聞 8月13日



リレー茶会で会費らのもてなしを受ける来場者＝浜松市生涯学習センター

国立京都国際会館九の五、六の両日開かれ、約四百人が参加した。今年も、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。今年も、県内外の茶会関係者約四百人が参加する。

淡交会青年部第11回全国大会

100日400回リレー茶会速報

* 1998年9月2日(水)発行 *

発信●社団法人茶道裏千家淡交会総本部

京都市上京区堀川通寺之内上ル〒602-8688

TEL075(451)5166 fax075(451)3926 http://www.urasenke.or.jp



No. **11**

85=8/21fri 86=8/22sat 87=8/23sun 88=8/24mon 89=8/25tue 90=8/26wed

91=8/27thu 92=8/28fri 93=8/29sat 94=8/30sun 95=8/31mon

* 北ルートAコース *

- 85 東本願寺 水月亭/250名
(岐阜連絡会)
「みち」をテーマに市民も多く参加。
- 86 丹生川村 千光寺/230名
(飛騨・のりくら)
1600年前の建物で、趣のある席。
- 87 富士ハイツ/50名
(東海ブロック)
モンゴル青年奉仕隊の同窓会。
- 88 東京第一ホテル魚津/190名
(魚津・うおづ)
菓子の銘「きずな」に茶家との一体感。
- 89 北前船回船問屋 森家/165名
(富山連絡会)
北前船のイメージで、海・船・旅の趣向。
- 90 小杉町役場ロビー/70名
(高岡連絡会)
町長はじめ職員、町民に一碗を。
高岡市役所/208名
(高岡連絡会)
ロータリークラブの賛同で、多数の参加者。

砺波市役所/100名

(高岡連絡会)

市長・市民から励ましの言葉を頂く。

91 大門町総合会館/36名

(高岡連絡会)

会員だけのゆったりとした茶会。

92 輪島市文化会館/70名

(石川・能登)

学生らと和気藹々の一時。

七尾サンライフプラザ/110名

(石川・七尾)

地元の道具・菓子で和やかに。

93 金沢市中村記念館/88名

(石川連絡会)

待合で青年部活動をアピール。

94 香林坊アトリオ前広場/450名

(石川連絡会)

TVラジオでの広報で、大勢の参加者。

95 仙斐屋敷/40名

(石川南連絡会)

青年部OBと会員との交流茶会。

延べ参加>14484名

* 北ルートBコース *

- 85 岐阜県民文化ホール/275名
(岐阜連絡会)
茶の道、全国大会への道、未知をこめたテーマ「みち」。
- 86 丹生川村 千光寺/230名
(飛騨・のりくら)
囲炉裏を囲んだ一席。
- 87 富士ロイヤルプラザホテル/200名
(東海ブロック)
地区学茶研修会の参加者に呈茶。
- 88 佐久創造館/170名
(長野県・東信)
仕事帰りの会員に夕涼みを兼ねて。
- 89 諏訪市勤く婦人の家/90名
(長野県・諏訪)
大勢のお客に、菓子を追加。
- 90 池上百竹亭/50名
(長野県・中信)
親支部の役員方も多数参加。

91 春近郷ふれ愛館/67名

(長野県・南信)

「おしのぎ」で空腹も満ちし皆満足。

92 悠々庵/400名

(長野県・北信)

早番遅番交替で担当し、大勢に一碗を。

93 西之門よしのや/300名

(長野県・善光寺平)

酒蔵を会場に、大きな秋を実感。

94 大和デパート上越店/241名

(新潟・上越)

買い物客も来席し盛会。

95 ホテルニューオータニ 麗々亭/130名

(新潟・上越)

15人ずつの席で、名水の一皿を。

延べ参加>12698名

全国大会までのカウント
ダウンもラスト・テン
を切り、ゴール間近。



日本全国を巡り、延べ参加者は、
五万五千人に迫る!

* 南ルートAコース *

- 85 八木宗俊宅 正光軒/329名
(大阪南連絡会)
涼風漂う趣向にこだわって。
- 86 長屋鎌倉スポーツセンター/400名
(大阪西連絡会)
福祉施設の関係者を招待。
坐磨神社/277名
(大阪北・なにわ津)
納涼・夏祭りをテーマに楽しんでもらう。
- 87 南宗寺/380名
(堺連絡会)
利根居士ゆかりの茶に大勢めかして。
- 88 池坊学園洗心館/132名
(京都西・西山)
近畿一円の大学茶道部に案内して。
- 89 梨木神社/32名
(京都北・紫野)
お茶を立てたそうめんを出して涼しさを。

90 霊鑑寺/35名

(京都東・洛東)

夕暮れ迫り趣が増した「夕さり茶会」。

91 京都ホテル/140名

(京都北・嵯峨)

ホテルのロビーでリレー茶会をアピール。

92 京都タワーホテル/62名

(京都北・北山)

「夏から秋へ」移り変わりを表現。

93 貴船べにや/48名

(京都西・洛西)

水神の名水で濃茶を。

94 借交苑/42名

(京都南・山城)

かき氷の涼爽席が好評。

95 古知谷無心庵/24名

(京都南・山城)

フランス国営放送の取材も受けて。

延べ参加>14612名

* 南ルートBコース *

- 85 八木宗俊宅 和風庵/329名
(大阪南連絡会)
南紀白浜の名水も受け継いで一服。
- 86 南地・丸三樓/34名
(大阪東・船場)
研修会で勉強した茶事を実践。
西川宗進宅/48名
(大阪東連絡会)
稽古と思えぬもてなしに感激。
- 87 阪堺電車内/50名
(大阪西連絡会)
路面電車内に茶室を設営。
南宗寺/26名
(堺連絡会)
学生らも緊張しながら参加。
- 88 大和郡山 菊寿庵/10名
(奈良連絡会)
利根居士と創始社にちなみお茶会。

89 かし原万葉ホール/95名

(奈良・明日香、まほろば)

「万葉茶会」に親子連れも多数参加。

90 広陵町 福祉会館/11名

(奈良・山の辺)

稽古されてる老人方に一碗を。

91 西大寺 光明殿/120名

(奈良・春日野、平城山)

一般の方とともに「納涼茶会」。

92 大迫宗津宅/13名

(奈良・青垣)

東海道の主要宿で、ゴールの無事をお祝い。

93 奈良市音声館/270名

(奈良・佐保姫、飛火野)

「緑台」茶会に体験コーナーも設置。

94 豊岡地蔵産/380名

(但馬連絡会)

文化講演会の呈茶席。

95 JR 天橋立駅2階/106名

(宮津・宮津)

天橋の松をテーマに、盛況。

延べ参加>11556名

茶道裏千家交會青年部のリレー茶会

烏集庵

朝日新聞 8月19日



四日市市で開かれたリレー茶会
茶会＝四日市市市場の森で

四日市や伊勢で リレー茶会開く

茶道千家茶会青年部
全国各地茶会のリレー
で結ぶ茶道千家茶会青年
部の「百日四百回リレー
茶会」が県内でも十八日か
ら三日間の日程で行われて
いる。初日は四日市市場の
森の茶会・酒造庵（しずい
あん）で開かれた。
リレー茶会は、九月五、
六の両日に京都である同部
隊。

中日新聞 8月20日

徐福公園で初の茶会

きのくに青年部
お茶の時間

新宮市の徐福公園で二十
日、初めて野点（のてい）
が催され、観光客や市民、
公園内茶店職員など合計約
四百人が抹茶を味わった。
同公園は新宮駅前におり
平成六年夏、接門や売店・
トイレ建設などの整備事業
が完成。従来からある徐福
の森やクスノキの巨木に加
え、近作、徐福立像、不老
の池なども設けられている。
この野点は、茶道千家
茶会青年部（角谷芳彦）が青年



【徐福公園で初めて開かれた野点】

南紀新聞 8月21日

京都目指しリレー茶会

伊勢 掛け軸と茶杓を引き継ぐ



神宮の趣向で開かれたリレー茶
会＝伊勢市生涯学習センターで

掛け軸と茶杓（ちやうしやう）
をバトン代わりに、全
「百日四百回リレー茶会」
が十九日、伊勢市神宮町の
生涯学習センター「いせ
く」で開かれた。全
「百日四百回リレー茶会」
が十九日、伊勢市神宮町の
生涯学習センター「いせ
く」で開かれた。全
「百日四百回リレー茶会」
が十九日、伊勢市神宮町の
生涯学習センター「いせ
く」で開かれた。

中日新聞 8月21日

市民に抹茶サービス

茶道千家とみ野青年部



抹茶のサービスを受ける市民

茶道千家茶会青年部
支所とみ野青年部（山本
照美）は、二十六日、同
支部が地元に密着し
て活動の一環として、市民

にお茶を差し込んでもちろ
と企画した。サロンには
茶道千家の茶と季節の花が
飾られ、和服姿の女性職員
が丁寧な手つきでお茶を
立て、窓口を訪れた市民や
職員らにサービスした。市民
は思いがけない抹茶のサー
ビスに、しばし驚きを覚
て一服のお茶を味わって
いた。

読売新聞 8月27日

猛暑に風雅楽しむ

茶道千家とみ野青年部



猛暑の中で開かれたリレー茶会
＝新宮市の熊野速玉大社の無量庵で

猛暑の中、八月十八日、
新宮市・熊野速玉大社の茶
室「無量庵」と那智勝浦町
・熊野那智大社の茶室であ
った。
茶道千家茶会青年部の
お茶の時間、八月十八日、
新宮市・熊野速玉大社の茶
室「無量庵」と那智勝浦町
・熊野那智大社の茶室であ
った。
茶道千家茶会青年部の
お茶の時間、八月十八日、
新宮市・熊野速玉大社の茶
室「無量庵」と那智勝浦町
・熊野那智大社の茶室であ
った。

京都の全国大会まで、各
地で茶会を開いている。
この日の茶会は、茶道千
家茶会青年部（角谷芳彦）
が開いた。
無量庵では床の間に「松
竹梅」の掛け軸、お
茶を淹めた。汗がにじ
み出るほどの暑さだった
が、角谷氏は「暑いのを、
涼しくするのがお茶の魅
力」と語り、約80人の招待
客をもてなしていた。
同支部は19日に本宮町の
熊野本宮大社、20日に新宮
市の徐福公園で開いた後、
大阪府高槻市にバトンタッ
チする。

毎日新聞 8月19日

京都を目指しリレー茶会

熊野那智 家元の茶杓を引き継ぐ

8 中
月 日
19 新
日 聞



茶道博士・茶家な会青丘部
のリリース茶会が十八日、

五月末に北海道と沖縄な
る両青年団全国大会に向
けたりレー茶会。

この日、和歌山支部から「松寿千年製」の軸と「無事」という銘の茶杓を引き寄せた両紀支部の二人、青野平茶園（わん）なき、柴野平茶園（わん）なき、とでもなした。

十九日に本宮町の熊野本宮大社、二十日に新宮市の福公園でそれぞれ茶会を開いた後、大阪南支部に掛け軸と茶杓を引き渡す。

宮元の軸を掛けた茶席で神職らを接待したりレー茶会・熊野那智大社で

軸と茶しやくバトンに

襄千家
淡交会

リリース茶会初開催

角 邊

家元の軸と牽しやくをハ
トン代わりに、全国各地を
つなく廻千家流交會のリレ
ー茶會が二十四日、魚津市
の東京第一ホテル魚津で開
かれた。

リレー茶會は、奥千家流
交會青年部の初めての試
み。九月廿日に京都で開か
れる同青年部の全国大会に
向けて、札幌、樺太、神戶、
熊本の四カ所をスタート。
四ルートで全国各地を回り

開リレーし、計四回開の交
會を期す。

八十八日間にあたるこの
間、旅交會会津支部のおつ
青年部(若田課部長)が、
静岡県富士市から、家元流
津の軸「流水照間所」と
家元作の牽しやく(今の心)
を受け継いだ。二年に一回
開いての勸學茶會と併せ
て開き、支部役員や師匠、
愛好者ら約三百人花もてな
した。和服に身を包んだ女

世らが、床の間に掛けられた軸の音楽を味わいながら、和やかなひとときを満喫していた。

二十五日は富山市へ引越され、同市東区瀬町の北前船問船問屋「藤家」で行われる。二十六、二十七日は高岡市で開かれる。

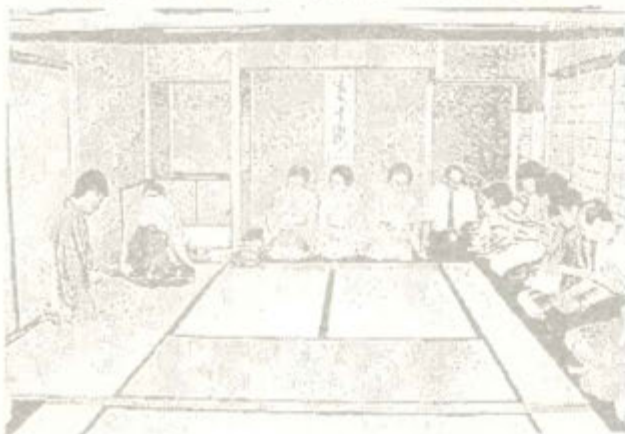
家元の軸と茶しずくを引越艇いで開かれたリレー茶会

■東京第一ホテル開演



岡崎で「リレー茶会」

青年部が家元の軸継ぎ



茶道皇太子「談交會」青年部の「百日四回リレー茶会」が十六日、阿南市内で開かれた。

このリレー茶会は、三回に一度の青年部全開大会が今年九月五、六日に京都で開催されるのを機に、全開

昭和公園の茶室で開かれた
茶葉干煎談文会青年部の
リレー茶会

岡崎青年部が中心となってお点前を披露。市民らは床の間に飾られた家元の軸に見入りながら、日本の伝統に浸っていた。

なお、家元の軸と茶勺は感知第二支部にリレーされた。

抹茶を味わい、茶会の参加から、岐阜市や岡町の未来を託す。

百人が訪れ、抹茶と和菓子
の深い味わい
を楽しんだ。

この茶会
は、二十二日
にも高山市内
で開かれる。

北ルートでスタート。各ルートとも、開雲斎千宗家、家元の手になる軸二幅と茶勺二本を引き継ぎながら、ゴールの京都目指して各地で茶会をリレーしている。

岡崎は北ルートの八十日目で、豊前第三支部から受け継いだ家元の軸「流水無間断」「寿山青々不老」と「会心の」「賢明」と銘打った茶勺を使い、岡崎公園内の茶室「英松庵」と「城蘭亭」で二席を設けた。

この日は、茶席は初めてという市民も含め、訪れた



側回りレー茶会開く
 遊人が抹茶味わつ
 茶湯萬千茶談文会の名天
 部青年部が全県各地で廣し
 ている「一日四回側回り
 茶会」が二十一日、岐阜市
 学蘭町の茶室茶湯と、岡市

で開かれた。
 この茶会は、京都で九月
 五、六の両日に開かれる淡
 交會青年部の全國大會を自
 指し、五月二十九日に北海
 道、札幌など四方所を巡回
 りに開業、富良野の湯け
 輪を茶料（しゅく）をりレ

しながら、
 各地で巡回開
 かれてゐる。
 この日は、
 県内の青年部
 員計約六十人
 が集まつてお
 茶会を開いた。
 二つの会席に
 は茶湯と茶

中日新聞
8月22日

金井繁春さん
お点前を披露
真千家リレー茶会
北海道や沖縄など全国開
き所から九月五日に京都で
開かれる真千家茶会青年
部全国大会へ向け、掛け軸
と茶しやくを「バトン」に
各地でリレー茶会が開かれ
ているが紀尾井町ロータリ
ークラブ（東京）の例会に
合わせ見事な、お点前を披
露し、会員を魅了させたの
は、陶芸家の金井繁春さん
（写真上）。



茶席は二十年。宗教といふ師範の資格を持ち、青年部関東ブロックの直前ブロック長である金井さんは、紀尾井町ロータリークラブのメンバー。「千葉藩民もたけ」。

日刊工業新聞 8月20日

淡交会青年部第11回全国大会

100日400回リレー茶会速報

* 1998年9月11日(金)発行 *

No. 12

発信●社団法人茶道裏千家淡交会総本部

京都市上京区堀川通寺之内上ル〒602-8688

Tel 075(451)5166 fax 075(451)3926 http://www.urasenko.or.jp

96=9/1 tue 97=9/2 wed 98=9/3 thu

* 北ルートAコース *

- 96 福井県国際交流会館/102名
(福井・飯坂・越前)
チャリティー茶会。短時間で大きな感動。
- 97 大野市有終会館/73名
(福井・いとよ)
地味に裏千家を身近に感じてもらった。
- 98 センチュリープラザ/196名
(福井・日野)
収益金を新聞社の共済基金に寄付。
- 延べ参加>14855名

* 北ルートBコース *

- 96 新潟市古町5番町アーケード/182名
(新潟・あさひ)
商店街の人だかりに感激。
- 97 佐渡博物館/80名
(佐渡・おけさ)
親先生、親光客とともに一期一会。
- 98 燕喜館/212名
(新潟・とき)
市民呈茶席に大勢の参加者あり。
- 延べ参加>13172名

* 南ルートAコース *

- 96 美濃吉四茶烏丸店/37名
(京都北・洛北)
薄茶一服後、皆で親睦会。
- 97 新美術商 三島/36名
(京都東・東山)
会員手作りの道具を使つての茶会。
- 98 鹿ヶ谷さびえ/64名
(近畿第一ブロック)
ブロック三役で一献、濃茶、また一献。
- 延べ参加>12848名

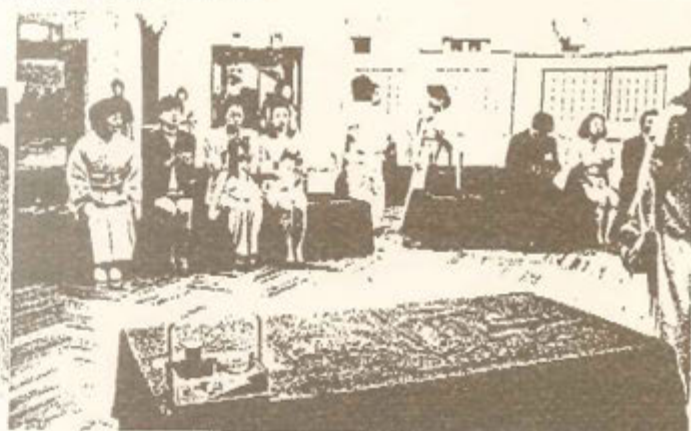
* 南ルートBコース *

- 96 綾部市中央公民館/100名
(岡山・連絡会)
親支部役員を交えてお茶をのむさしめる茶会。
- 97 大発宗美方/37名
(滋賀・水の郷)
小間の席でお茶を問近に。
- 98 叶匠寿庵 京都茶室/24名
(滋賀・比叡)
初秋をテーマに二服のお茶を。
- 延べ参加>11717名

99=9/4 fri 宝が池プリンスホテル

全国大会実行委員会、代表者会議での呈茶席を、第11期シ・T(リーダーシップトレーナー)出向員たちが担当。前日に南ルートのご染筆とお茶杓を近畿第一ブロックより、また北ルートは15時半からの呈茶時間前に北陸信越ブロックより引き渡されました。

茶席の入口には海のしつらえ、道具組は秋で迎えました。2時間の内、前半を「道」、後半を「和」のテーマとし、一席ずつお軸を掛け替え、一会場で4幅を拝見していただきました。

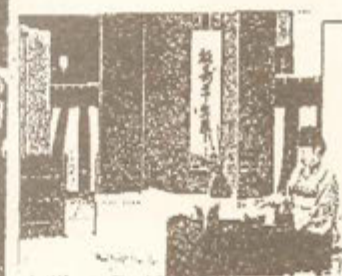
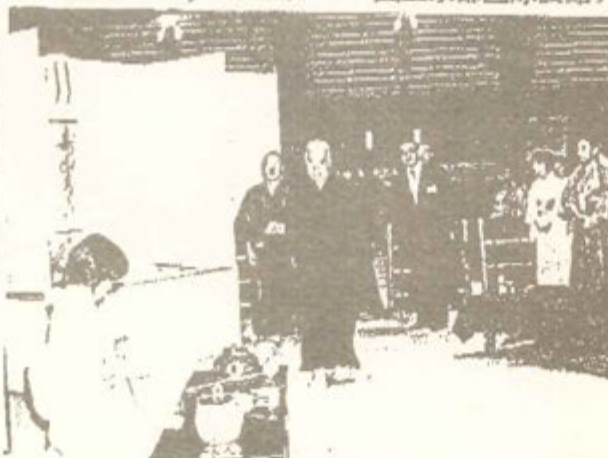


百日四百回を超える茶会のリレー、感動のファイナーレ!
日本全国の七万人を“和”でつなぎ、京都に集う



100=9/5 sat

国立京都国際会館アネックスホール



(東海ブロック)

寿山青々不老「奥明」

(北陸信越ブロック)

流水無間断「今の心」

(近畿第一ブロック)

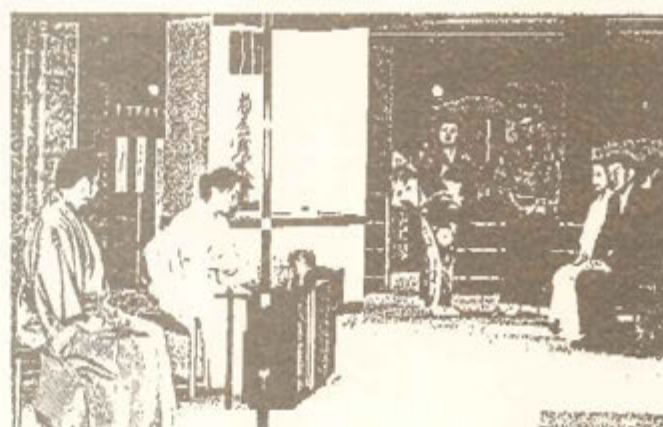
杓底一残水「碧雲」

(九州ブロック)

松寿千年翠「無事」

リレー茶会 100 日目に当たるゴールは、全国大会会場の国立京都国際会館アネックスホールで4ブロックによる呈茶席となりました。真新しい会場を4分割して設営。大会参加者らが来席し一席を。リレー茶会のゴールを肌で感じ、自分たちがリレーしたご染筆・お茶杓との再会に感慨深そうでした。

また、別会場ではリレー茶会まよめの展示も設けられました。



各地で注目されるリレー茶会（新聞掲載記事）

風雅にお点前楽しむ

小松 県内の茶会“締める”

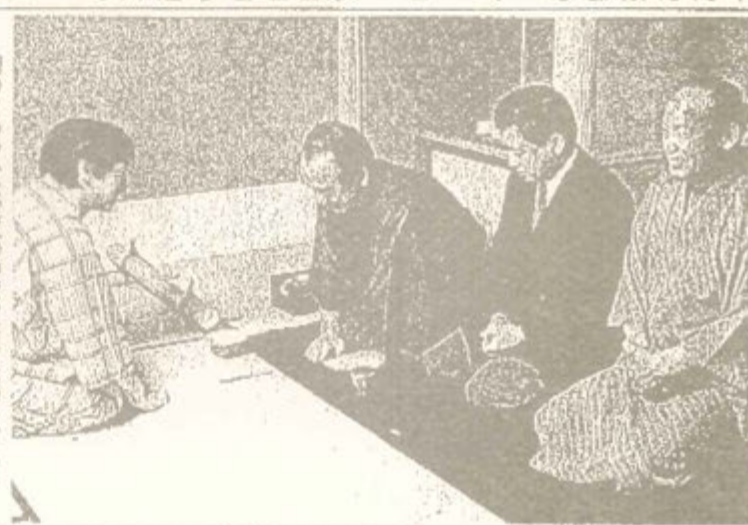
百目問津橋と全國四百カ所を巡回している「百目四百同りレー茶会」が三十一日、小松市芦城公園内の茶室・仙舟屋敷ならびに玄庵であった。茶道裏千家・淡文会石川・南支那青年部の会員ら約四十人が風雅なひとときを楽しみながら、県内最後の茶会を締めくくった。



客の参加者は、雨にしろ雪の白い花や、こけの庭などとりとめれたシウカイドとまてでながら、菓子と抹茶

リレー茶会は、九月五日に京都で開催される三年に一度の「淡交会青年部全国大会」を広くPRしようとする企画された。墨田家の十五世陽整茶室直道茶の掛け軸と茶しゃくをバトン代わりに、五月二十九日、北海道と九州からスタート。八月二十八日から県内入りして

平日のこの日は、会員の
勤務に支障がないよう、早
朝六時から始まった。浴衣



朝のさわやかな空気の中で、茶会を楽しむ人たちは小松市の茶室・仙叟園敷ならびに玄庵で

北陸中日新聞 9月1日

家元の軸と茶杓パトニ

九月四、五日に京都で行われる
裏千家流文会（文部省）の第十一回青年部全
国大会に向け、鶴岡亮家元直筆の
軸と手製の茶杓をバトン代わり
に全国各地をつなぐ。

十六日に札幌、根室、沖縄、熊本の四ルートで出発。全国各地で五日間、延べ四百回の茶会が開かれる。高岡支部ではお茶を通じて地域所をリレーし、となみ野は能登の青年部に引き継ぐ。

志賀野青年部は、いみず野青年部から鮎と茶約を受け取り、リレー茶会のために市川

高岡などでリレー茶会

青年部全国大会に向け

市役所を訪れた市民や愛好者に心安く一服を振る舞った。

社会発展にしろでも役立てるため
星茶会を企画し、いみず野青年部
は小杉町役場、志賀野青年部は高
岡市役所、となみ野青年部は碓波
市役所で行った。軸と茶約も三方
だにした。

茶を味わった。掛け軸と茶丸岡町の相違書に引き継が
しやくはこのあと、福井県へ来た。

きょうごう

7万人、100日で全国巡る

茶道のよさを広めよう」として行い、五月二十九日、札幌、那覇など四都市で始まり、各立派な茶室での茶会は、五日、京都市左京区の京都国際会館にゴールする。開催ながら、京都市で開かれる裏千家全国大会に属するという企画。バトンには千宗室・裏千家家元がど九か所で茶会が開かれ、六日は北区の大徳寺など

手がけた掛は軸と茶し
が使われた。

先月三十一日、兵庫四
岡市から宮津市の宮津青年
部（山崎よし子部長）に迎
され京都入り。KJL大橋
立教会講堂での茶会は、三
五人の茶道愛好家だけで音
わった。

五日は記念式典が行わ
れ、六日は北区の大徳寺な
ど九か所で茶会が開かれ
る。

新聞 9月5日



職雲海家元直鐘の軸を眺め一服を楽しむ愛好者 一高岡市役所

富山新聞 8月27日

長野市民新聞

8
月
22
日

千原宗家元祖の掛け軸と、茶杓（じゃく）をバトン代わりにつなぎ、100日間かけて全国でリレー形式の茶会を開いている茶道裏千家淡交会の9月10日400回リレー茶会」が28日に東町の

県内は同会原支那東信青年部が24日に東海フロッグから掛け軸と茶杓を引き継ぎ、中信、南信を経て、28日午後1時～8時に北信青年部が悠々庵で、29日午後1時～5時に雪光寺平信青年部がよい

裏千家淡交会—全国400カ所で開催

リレー茶会一服いかが

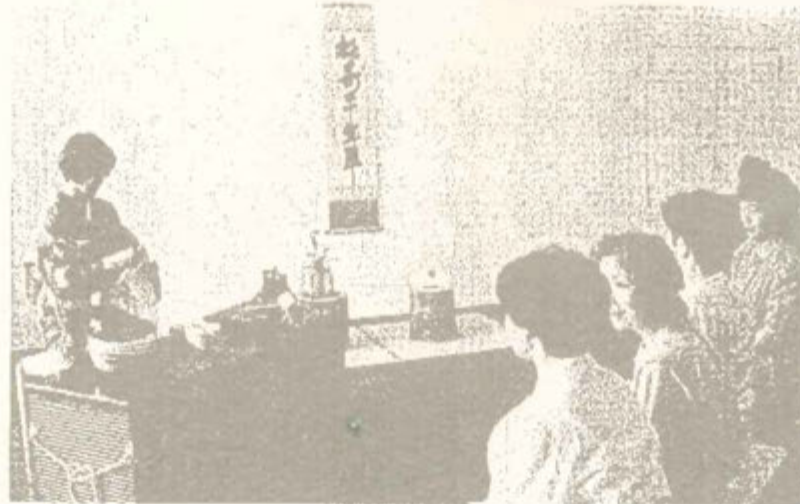
28日東町「悠々庵」、29日「西之門よしのや」で

開き、新潟県
部に「ペン・ア
ン」を4つタ
ッピン機で打
奏中に演習終
了で行く。北
信青年現役参
加料一席300
0円。普光寺
平青年部は
「初秋の風情
をみなぎりに
叩き出す」と
「向」をびん
にリアルプス
の路をたどる
と、あめりか

せて初めて企画。5月24日に北ルートは北海道の根室と札幌、南ルートは沖縄、熊本をスタート。全国を4コースに分けて、計400カ所で茶会を開きながら、京都を目指している。

北信青年部長の小出徳登さんは「京をテーマに、夏らしくカラスの道標を用いて茶席をつくる予定です。飲み方を指導しますので、初めての方もぜひこの機会にお茶にふれてみて」と助めています。

裏千家淡交会青年部 全国4コースに分け 100日400回リレー茶会



100日400回リレー茶会として、茶道裏千家淡交会奈良支部青年部が主催した茶会。奈良市の市音声館で。

奈良市音声館で250人舌鼓

一碗から心の潤い 家元の軸と茶杓引き継いで

「一碗(わん)からじいすフルネスを」。九月五日の「茶道裏千家淡交会青年部第十一回全国大会」に向け、全国を四コースに分けてバトンされる「百日四百回リレー茶会」が二十九日、奈良市鴨川町の「市音声館」で開かれ、会場の前庭に訪れた市民ら約二百五十人が舌鼓を打った。リレー茶会は家元・膳所斎千宗家系が「きこう」した軸と茶杓(しやく)を会場に引き継ぎながら開催。奈良県コースは、音声館が最後で、以後兵庫県の同会場支部に引き継がれ、兵庫、滋賀をへて全国大会に到達する。

リレー茶会は五月二十九日、原万葉ホール、西大寺光明目スタート。四ルートのうち、奈良県は熊本出発のコースに組み入れられ、家元が揮毫した四幅の掛け軸のうち「松寿千年聚(しょうじゅせんねんのかみど)」の軸と、「無事」と名付けられた茶杓は八月後半になって奈良県入り。県

い、「お茶でも一服。ゆっくりお上がりください」とおもてなしを。体験コーナーでは中年女



「体験コーナー」でお茶前にチャレンジする子ら

ら茶道の心傳を受けながら、お茶前にチャレンジ。同会奈良支部幹事長の岡本宗嗣さん(奈良市法蓮立花町)は、「こういう機会が、若い世代の中からも、茶を通じて心の潤いを取り戻していただけたらというのが、お家元の示された趣旨。十

奈良日日新聞 8月30日

思い思いに味わう

奈良市で
リレー茶会
250人が次々と

百日間で全国四百カ所を回り、お茶を振る舞う「百日四百回リレー茶会」が二十九日、奈良市鴨川町の同市音声館で開かれた。お茶杓や家元連れら約二百五十人が次々と訪れ、特設された茶席でお茶を楽しんだ。

裏千家の茶を学んでいる若手らでつくる淡交会青年部が、九月五日から京都で開催される青年部の全国大会を前に、「お茶の楽しさをより多くの人に知ってもらおう」と企画した。計四コースに分かれ、五月下旬に北海道と九州・沖縄を出発。京都を起点としてリレーしていった。



振る舞われたお茶を楽しむ子どもたち
＝奈良市鴨川町の同市音声館で

切なし。参加者は浴衣姿の女性たちが振る舞うお茶を思い思いに味わっていた。今年二月から茶道を習い始めたという奈良市杉江町三丁目の主婦村上尚恵さん(55)は「こういう気楽な感じもいいですね」と笑顔で話していた。

9

掛け軸と茶しやくをバトン代わりに全国四百カ所で開催を期く「全国リレー茶会」が二十九日、京都市左京区の貴船で開かれた。

五日に京都市内で開く全国大会に向け、異千家族交會に所属する全国の青年部が京都を目指し北と南からリレーをつないで折り、各地の青年部が趣向を凝らした茶会を開催している。

この日は、西支部洛西賀年部が主催した。水の守護をまつる貴船神社の御神水を使つた名水点（だ）ことし、料亭に設けた茶席では通常のお薄でなくより正式な濃茶が振る舞われた。茶元百重の掛け軸「杓底一残水」とキアネギクや秋の七草が飾られた床を前に、列席者は茶しやく「湯茶」を使つてたてられたわったりとしたお煎餅を味わった。

流派越え優雅に一服

淡交会青年部リレー茶会



趣向の面白さに関心も高まる茶席

茶杓と軸バトンに

茶道裏千家淡交会青年部が、宮元の千家宗氏直傳の軸と茶杓をバトン代わりに、同日開催の全道大会に向けて五月二十九日、北海道と九州を皮切りに流派を超えた愛好家や一般市民を招き、道内各地で開催された。

長岡では同中継放送中継活動で地域のみなさんに知ってもらいたい、茶道を通じて日本文化の良さを発信して午後一時から七時まで実施

し、雨による交通機関の遅延で足元の悪い中、勤め帰りに立ち寄る人なども含め百三十人余りが参加。

雨雲が降る屋外とは一転して茶室では和やかな会話とともに一服を楽しんだ。

参加者の一人は「ユニークな趣向で青年部の熱心さが印象的。お茶の心が伝わる良い機会になったと思うます」と感想を述べていた。

茶会は県内では新潟、佐賀八度、新潟でもう一席リレーし、四日に京都に集められ、五日に東京、六日に大阪、七日に福岡の茶会が開催される。

100人がお点前楽しむ

七尾 淡交会リレー茶会



茶道裏千家淡交会石川支部七尾青年部は二十八日、七尾サンライフプラザで淡交会の百回リレー茶会（北國新聞社ラジオなお後援）を開いた。

この茶会は、九月五日に淡交会青年部の第十一

回全国大会が開かれる京都に向け、宮元直承の掛け軸と茶しゃくをリレーしている。北は根室と札幌、南は札幌と根室を

北國新聞 8月29日

茶道裏千家淡交会青年部

北海道から九州から涼やかにリレー茶会



アサヒオーク 9月1日

去る8月10日、揖保郡太子町あすかホールで、淡交会西播磨支部千種青年部によるお茶会が開かれた。席主を務めたのは青山宗恵さん。裏千家家元の軸二幅づつが北海道から九州から回

去る8月10日、揖保郡太子町あすかホールで、淡交会西播磨支部千種青年部によるお茶会が開かれた。席主を務めたのは青山宗恵さん。裏千家家元の軸二幅づつが北海道から九州から回

茶しゃくがバトン

七尾に全国茶会リレー



参加者にお茶を振る舞う青年部員ら＝七尾市の七尾サンライフプラザで

で開かれ、約三十人が茶の湯の風情を楽しんだ。

茶道を広めようと、五月

連続百目にわたって全国各地でお茶会を開く「百回リレー茶会」（茶道裏千家淡交会主催）は二十八日、七尾市の七尾サンライフプラザで開かれ、約三十人が茶の湯の風情を楽しんだ。

茶道を広めようと、五月

二十六日、南北四方からスタート。同青年部全国大会が開かれる来月五日まで、茶しゃくと家元の掛け軸をバトン代わりに全国四百里所を巡る。

この日は九十二回目。茶室にすわりとならんだ参加者は、ちよびり緊張の面持ち。鮮やかなお点前に見とれ振る舞われた裏千家と抹茶をじっくり味わった。

二十九日は金沢市立中村記念美術館、三十日は同市香林坊のアトリオ前広場でそれぞれある。

北陸中日新聞 8月29日

京都目指し
リレー茶会

東京家庭交歓会連盟

東京家庭交歓会連盟は、全
国各地で茶会を開催して京
都を目指す「リレー茶会」を
七月、秋



田市御所野の中央地区老人
福祉会エリナ内のコミュニ
ティセンターに設けられた
「茶会」。

茶会実行委員会秋田支
部の会長の青島部（前橋司
部長）主催。

センター利用者は約八十
人に無料でお茶が振る舞
われた。参加者は、輪
や、花飾に飾られた茶
がさを見ながらうたた
して茶を飲んでいた。

リレー茶会は、九月五日
に京都で開催される青年部
全国大会へ向け、七月二
十九日に全国四府県でスタ
ートした。四つのルートで
それぞれ輪を回して、京
都を目指す。四府県は、秋
田、山形、福島、宮城の
四府県。

秋田魁新報 6月28日

9月の全国大会成功めざし

淡交会 家元の染筆などリレー茶会



接待を受ける本場茶（文化会館）

「リレー茶会」の第一歩（と
わの和）をテーマに、五
月二十九日から北海道五
所と神奈川、熊本、大分、
四つのルートでリレーし、
九月五日に京都で開催の全
国大会に向かう。二十八日
に久留米支部から下関支部
に渡り、二十九日に宇都宮
に入った。

掛け軸には一輪の水の穂
きを載せる「約底一穂水」
と書かれており、米穂は
熱心に拝見していた。茶会
終了後、同部は南防支部
かは四府県にリレーし
た。

普通女子家庭交歓会支部支
部と若手青年部（山形県）
部員五十人のリレー茶
会、お茶の接待を受けた。



家元の掛け軸の前で茶の湯を楽しんだ
（能代市中央公民館で）

掛け軸などのリレーも

淡交会 茶会開く

普通女子家庭交歓会秋田北
支部青年部のチャリティー
茶会は二十日、能代市中
央公民館で開催され、大勢の
一般市民や会友たちが茶の
湯を楽しんだ。今回は九月
に京都で開催される青年部
全国大会に向けて全
国各地の青年部が順次、第
十五代家元の十六代氏の掛
け軸と茶しゃくをリレーす
る。

チャリティー茶会は毎年
この時期に行っている。例
行で、収銀金は市社会福
祉協議会などに寄付してい
る。この日は、秋田明
一茶会と共催になり、能代
市山形は、能代市山形地
区から大勢の人があつた。
リレー茶会では九月に京
都で行われる青年部全国大
会を目指して、北ルートと
南ルートそれぞれ二つのル
ートで茶会を開催する。四
府県の掛け軸と茶しゃくを
リレーするイベントも、県内
で行われる。

比羽新報 6月24日

中部時報 7月1日

家元の道具使い茶会

裏千家「淡交会」

普通女子家庭交歓会「淡交会」電
気支部青年部（能代市）は、
七月二十九日、八月二日、
八月五日の三日間、九月
の全国大会を前に全国四
府県に渡り、リレー茶会
を開催している。リレー
茶会を開催する市町村は、
リレー茶会を開催する。
リレー茶会では、各地で
独自の茶会を開催し、三年
に一回開催の青年部全国大
会を目指す。今年、秋田、
山形、福島、宮城の四府
県から南北四ルートに分け
スタート。九月五日に京
都を目指す。南ルートは
茶会



南海日日新聞
6月9日

バトンは掛け軸と茶しやく

櫻井内（五市八ヶ所、島根県内は四市七ヶ所）で、青年部が主を凝らしながら実施している。

松原では八日夕、浜田市民集会所で、いわみ路青年部（吉本美和部長、三十一人）が「夕謀み」をテーマに開いた。九日には江津市内の保育園で、ささなみ支部（阿部百合子、長、五十五人）が「浦島太郎」をテーマに茶会を催した。山陰地方を巡回した後、掛軸と茶しゃくは岡山県の支部に引き渡される。

A black and white photograph showing a group of people, including children and adults, gathered in a room. Some are seated in chairs, while others stand. The room has a doorway in the background.

掛け軸、赤しゅうを縫製しながら浴衣を着た「いわの
晴江半郎」のもてなしを禁ける出陣書

市民100人楽しむ

100
日
400
回
レ
ー
茶
会

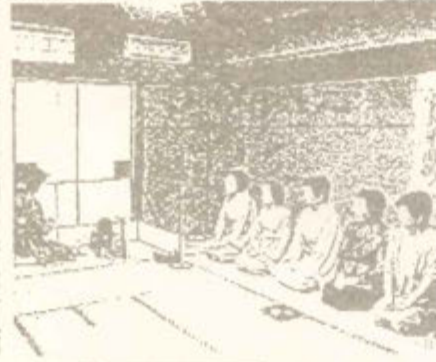
結 語



宗應には七ヶ餅のてしほ
され、和服姿の青年郎の姿
が三の川に映はつた和服子
と潮衣を誦するあまのな
ど、哀情あふれる群像とな
つた。

茶会終了後、参加者が見
守る中で、永藤部長から次
の南穂地の岡倉米子文部伯
喜百年祭の松本協同部長に
袖と着しやくが引合はれた
た。十二日はホテルの二
つで、山陰温泉をリレーさ
れた袖と着しやくが岡山昭
の代官に手渡される幕落。

北見でも「リレー茶会」
茶道裏千家 淡交会北見支部
みんと青年部が



部（前谷美穂部長・
郎四十五人）が一日、
北見市民会館で「リレ
ー大会」を開催した。
今年九月に行われる
同会五回記念大会や
そのテーマ「つくるこ
水達の心の和」の理解
と周知などを目的に、
千原聖堂元染筆の軸を
先月二十九日から、日
帯広から北見へ、そ
して遠軽へと手から手
へ渡されている軸には
「流水無間断」と書か
れている。水が絶えず
流れているように西下り
かな心を描き、またそ
の心をリレーし、お茶
の道に悟滅しようとい
うもの。

その日最初の茶室に

は、岡本史文記幹事長の
小田所宗英さんをはじめ、
一般からの参加
も含む十六人が観望。
満座に満座などの取り
合わせが、明な言葉で
岡本幹部の手作りりの本
子・紙処理やバトン
を表した並平とごまに
お茶を配わっていた。

經濟の伝書鳩

6月1日に「リレー茶会」

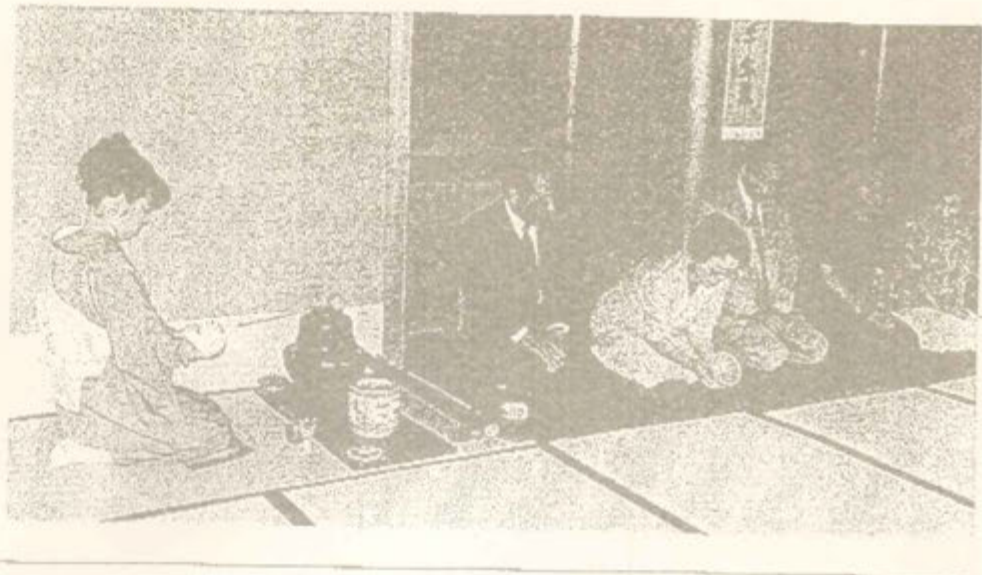
北見支部（近藤伸支部長）内の、みんと青年部（渋谷美映部長）は六月一日（月）、北見市民会館・紀要ホールにて、リレー大会を行う。時間は午後二時～八時。

同青年部は、口元から赤坂真千家を学ぶ市内の主婦ら二十五人が構成。

今年九月に開催される同会青年婦人会大会やそのテーマ「つくるうまき」の心の和」の具

[illegible]

京都に向けリレー茶会



出雲でも200人が堪能 裏千家 青年部

茶道・裏千家の青年部派
交會が、全国四方面から京
都に向けてスタートさせた
リレー茶会が十二日、出雲
市浜町の出雲文化伝承館で
あった。淡文茶室部山陰
ブロック（河上弘プロダク
ション）と、同会島根
支部（原一弘）

部長、四十八人）の主催。
リレー茶会は、九月三日
から三日間、京都で開かれ
る青年部全国大会に向けて
気運を盛り上げようと企画
され、北海道、沖縄、九州
の四方面をスタート。十五
代親雲上家元の掛け軸と茶
杓（しゃく）をたすき代わ

りにリレーし、百日間で四
方面の茶会が開かれる。
出雲市での茶会は、家元
直兼の「松寿千年頌」の軸
と、同じく家元作の「無事」
という鏡の茶杓を、松江市
のやくも青年部から引き継
いで、大会テーマ「つくろ
う永遠の心の和」に添った

茶席を敷いた。茶会には地
元の愛好家ら二百人が訪れ
て、青年部員による心づく
しのお茶を堪能していた。
軸と茶杓は、この後、岡山
県津山市へと引き継がれた。

島根日日新聞 7月13日



西日本新聞
6月26日

お茶の魅力広めたい

あすの茶会へ向け奔走中
「長い歴史で洗練され、すべてに無駄が
ないのがお茶の魅力。みそぎを受けたよう
な、すがすがしい気持ちになります」と結
ぶのは、茶道の裏千家派交會の福岡支部背
振青年部長を務める大倉綾加さん（32）
＝福岡市早良区南区。27日午前10時半から
天神の岩田屋2サイド前である茶会の運営
方として奔走中。同青年部が、9月に京都
市で開く全国大会を記念し、家元作の掛け
軸と茶杓（しゃく）をリレーしながら各地
で開いている。「若い物のついでなどに気
味に寄っていただき、お茶の魅力の一端に
触れてほしいですね」。



リレー茶会 13日に到着

裏千家

「家元の筆による軸と茶杓
（しゃく）をバトンに見立て、
全国四方面をめぐるリレー茶会
京都まで伝達する「裏千家派
交會・リレー茶会」が十三日、
中央区松坂の橋屋英子さん宅
（阿含青年部全国委調所）で
折りが込められている。

開かれる。
お互いが仲良く、尊敬しあ
う清らかな心を持つという意
味の茶道の心得「和敬清寂」
を全国に広めようという企画
を企画している。四月十八日
目にあたる十三日に千葉市に
到着する。
第十五代親雲上家元が揮て
うした「寿山百々不老（じゅ
さんせいせいふく）と茶杓
（しゃく）をバトン（しんご）を
中心に
茶会が開かれる。

千葉日報 7月7日



掛け軸と茶杓バトン
チャリティティー茶会
福岡市・天神
若いお客でにぎわう福岡
市中央区天神の岩田屋2サ
イド前広場（二七）日、チ
ャリティティー茶会「作る永
遠の心の和」があった。年
長。この茶会は、茶道界千
家派交會青年部が九月に開

催す全国大会までの百日
間、家元がつづった掛け軸
と茶杓（しゃく）を各地の
支部などでリレーしなが
ら、全国で開いている。
福岡支部の主催は同派交
會福岡支部（早良川茶室支
部）と、福岡支所（岩田屋
二部）所長の西原幸子部
長は「気持ちよく」（主催
者）。約二百人が福岡の家
元立に寄り一服した。英
語講師の竹田啓子さんは
「同市早良区有明」は「こ
んなに気軽にいられたら茶
もいじめる」と話してこ
た。

西日本新聞 7月28日

リレー茶会楽しむ

釧路 軸受け継ぎ京都に向け



家元の煎による軸を受け継いで開かれた青年部のリレー茶会

裏千家淡交会

釧路新聞 6月1日

掛け軸の下で
お点前を披露
鳥取でリレー茶会
全国各地の茶道青年部が、鳥取市でリレー茶会を開き、お点前を披露した。参加者は、鳥取市立中央公民館で開かれた。参加者は、鳥取市立中央公民館で開かれた。参加者は、鳥取市立中央公民館で開かれた。



約700人が参加したリレー茶会

鳥取市では、鳥取市立中央公民館で開かれた。参加者は、鳥取市立中央公民館で開かれた。参加者は、鳥取市立中央公民館で開かれた。参加者は、鳥取市立中央公民館で開かれた。参加者は、鳥取市立中央公民館で開かれた。

日本海新聞
7月14日

家元の書など引き継ぎ 徳山・下松・裏千家淡交会のリレー茶会にぎわう



多くの参加者でにぎわうリレー茶会

日頃、若菜氏家元の書と茶しやくを受け継ぎながら各支部の青年部が開いている。徳山会場は、河村誠子部長が運営し、三十人ずつが十回に分けて会場に入り、氷あずきや抹茶を口にしながら、氷あずきを食するときに「風鈴のようである」と語り、茶を飲む人もいいて楽しんでいた。

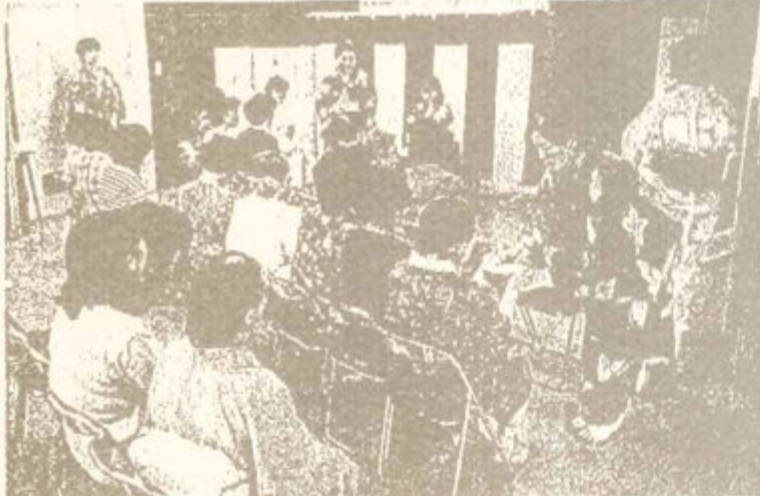
日刊新聞 7月2日

リレー茶会山陰を走る

北道沿いから山陰に向かって、家元の掛け軸と茶しやくをバトン代わりにして、リレー茶会が、山陰各地で開かれている。

バトンは掛け軸と茶しやく
全国大会の京都目指す

茶道青年部 裏千家淡交会 青年部
が初めて企画し、五月二十九日に北海道、札幌市でスタート。北A、Bルート、南A、Bルートの青年部全国大会を目指して、山陰県へ引き継がれ、走る。



掛け軸、茶しやくをバトン代わりに引き継ぎながら走る「リレー茶会」

山陰中央新報 7月10日

遠 輕 新 聞 6 月 4 日



水沢市で開かれた「リレー茶会」

茶道専ら家談交會青年部
が各支部を巡って行つ「リ
レー茶會」が三日、水沢市
大畑小路の千田宗賢社中
の一角で開かれた。九月に
いこ場で開かれた。九月に
京都府で開佛の同青年部全
国大会に向けて開かれてい
るもので、参加者たちは
ゆつたりと茶道の世界に
浸っていた。

リレー茶會は、三年に二

度の全園大会のPRと一門意識の高揚を目的に実施。北海道や沖縄など全園四カ所を起点に、家元の「掛け軸」と「茶杓(ちゃしゃく)」をバトン代わりにしながら各地で茶会を開き、京都まで受け継ぐ。

五月二十九日から全園大会開催日(九月五日)まで百日間をかけてリレーすることから、「百日茶会」と銘打っている。県内では九カ所での開催を予定し、六月

十五日に盛岡市をスター
した。

水沢市の会場となった千
田宗農社中けい一堀には、
岩手南文部鎮河青年部メン
バー約百人が詰め掛けた。
賑やかな着物を着た女性たち
がお点前を披露し、全国大
会に向け交流を深めた。

茶田男千原廣文会青年部は五月二十九日から日本全国で連続百日間のリレー茶会を始めた。私はこの日、スタート地点の一つである北海道根室市へ、十五世製茶新千宗空御安元に拝聴いただいた軸とお茶杓を請えて、引き渡すのため

時にスタートし、家元からお預かりした斬と条約をバトンに見立て、各地の青年部が地域性を出した糸会を贈るながら、引継ぎていく。

前にした納沙布岬の「祈りの灯」から採火した。その火で茶をたて北方領土返還を祈願し、一今の心といふ茶の銘をきかけに、平和のありがたを一期一会の夢みについて、思いを致す茶会となつた。

茶会は人と人の心がつながる場である。夢主が客を思つて心を尽くした趣向は、客も心をもつてこたえた。他の土地にも通じてその風味を大切に、茶事を綿々と續けている彼等。その土地で、私はこれからも、茶の心「和敬清寂」の勉強を続けていきたいと願つてゐる。

石川県におけるリー茶会は、石川支部が担当し、八月二十八、二十九、三十日に席を設け、二十九日は金魚相撲の会となつた。

新聞 6月9日

周 能久
(茶道通千家廣文公青林明全圖)
代茶者餘韻藏(宗)

に規定の趣意による。

（金沢市）
 広く市民の参加を待ちつてい
 す。

盛り上げ、茶の息を一般の人々にも理解してもらうことを目的に企画された。百日間で約四百回の茶会を全国で行う。

盛り上げ、茶の息を一般の人々にも理解してもらうことを目的に企画された。百日間で約四百回の茶会を全国で行う。

鳥取で

リレー報告は、九月に東京都で開催される社会党青年部第十一回全国大会のテーマ「つくろえ永遠の心の絆」のもと、憲元の勅を基に、心をひとつにして、全国若者をひとつになりにいくもの。すでに五月末からスタートしており、全国大会までの百日間に四回回の報告が原か

開校時でも各学級に音楽室を備えながらバトンがけを続けられ、十二日には県民文化会館で、県内の朱大成としての発表を聞く。

当日は午前十時から午後四時まで、同会館の練習室で兩茶席（青年部）、和室で清茶席（親友部）、フリースペースで後援席（各校）が並べられ開かれる。

